

「中野駅周辺産業活性化に関する意識調査」 報告書

平成20年2月

東京商工会議所中野支部

目 次

「中野駅周辺産業活性化に関する意識調査」概要.....	3
I. 回答事業所の属性	
1. 経営形態.....	4
2. 資本金規模.....	4
3. 1事業所あたりの事業所数.....	5
4. 従業員数.....	5
5. 所在地.....	6
6. 対象区域内立地状況.....	7
7. 業種.....	7
8. 事業開始年次.....	8
II. 設問に対する回答結果	
1. 最近1年間の業況.....	9
2. 今後の事業展開	
(1) 全体.....	9
(2) 従業員規模別.....	10
(3) 業種別.....	11
(4) 資本金規模別.....	12
3. 拡大指向の事業所が有望とみる立地.....	13
4. 中野駅周辺区域の再開発についての意向.....	13
5. 将来の中野駅周辺区域について描く地区イメージ.....	16
6. 将来の中野駅周辺区域の類似イメージ都市.....	17
7. 活性化後の中野駅周辺区域におけるビジネス展開.....	18
8. 中野駅周辺区域の事業所立地上の魅力.....	19
9. 賑わいをつくりだすために有効な産業振興支援策	
(1) 全回答.....	21
(2) 中野駅周辺区域へのビジネス展開の意向別.....	23
(3) 事業所立地（対象区域内・外）別.....	25
10. 中野駅周辺地域の活性化のための有効な施策	
(1) 全回答.....	27
(2) 事業所立地（対象区域内・外）別.....	29
11. 中野駅周辺まちづくりに関して、特に産業誘導策や地元産業の活性化策に対する 基本的な考え方や要望について（自由回答）.....	32
III. 調査票・添付資料（中野駅周辺まちづくりに関する動き）.....	33
IV. 自由意見	
1. 中野駅周辺地区の再開発についての意向.....	38
2. 活性化後の中野駅周辺地区におけるビジネス展開の可能性.....	46
3. 中野駅周辺まちづくりに関して、特に産業誘導策や地元産業の活性化策に対する 基本的な考え方や要望等.....	52

「中野駅周辺産業活性化に関する意識調査」概要

1. はじめに(目的)

J R 中野駅周辺は、業務・商業施設が集中し、中野区経済と区民生活にとって基幹的な役割を果たしている。一方、平成 13 年に中野から移転した警察大学校跡地や丸井本店などの再開発計画により、中野駅周辺区域は大きな転換期を迎えている。

こうした状況のなか、東京商工会議所中野支部では、区内事業者に対し、中野駅周辺まちづくりに関する動向をうけた期待感や将来の地区イメージ、事業立地上の魅力やビジネス展開の可能性などの地域事業者の基本的な考え方・要望について産業振興の視点から調査を実施した。

2. 調査方法

東京商工会議所中野支部の「中野駅周辺産業活性化検討委員会」において「中野駅周辺産業活性化に関する意識調査」のアンケート調査項目の内容を検討し、区内事業者に対し郵送によるアンケート調査を行った。

3. 調査対象及び回収率

本調査は、東京商工会議所中野支部会員及び中野駅周辺まちづくり区域(80ヘクタール巻末添付)内の事業者を対象に行った。それぞれの事業者数及びアンケート回収数、回収率は下記の通りである。

なお、中野駅周辺まちづくり区域で事業を行う東京商工会議所中野支部会員も多く、主な集計・分析の視点は、中野駅周辺まちづくり区域内事業者と、その他中野区内事業者に分けて行った。

	郵送数	回収数	回収率
合 計	3,318	565	17.0%
中野駅周辺まちづくり 区域内事業者	1,601	212	13.2%
東商中野支部会員	1,717	353	20.6%

※東商中野支部会員には中野駅周辺まちづくり区域に立地する事業者を含む

4. 調査期間 平成19年8月23日～9月10日

I. 回答事業所の属性

1. 経営形態

(有効回答数：523)

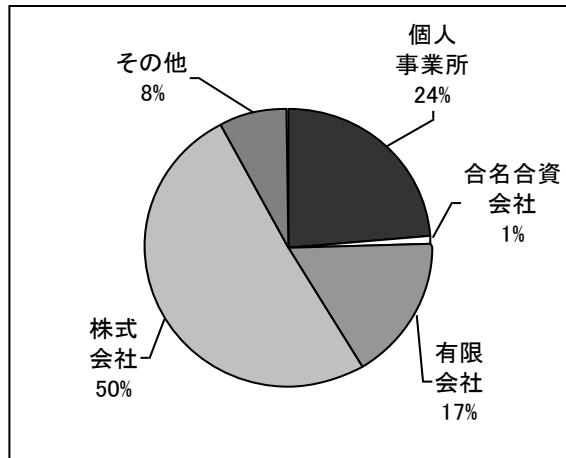
有効回答数の50%が株式会社であり、次に多かったのは個人事業所の24%、有限会社の17%であった。

その他も8%として多かったが、具体的には社団法人、財団法人、医療法人、社会福祉法人、商店街振興組合、協同組合、生活協同組合、管理組合、宗教法人、各種団体等である。

図表1

経営形態	件数	%
個人事業所	124	23.7
合名・合資会社	4	0.8
有限会社	89	17.0
株式会社	265	50.7
その他	41	7.8
合計	523	100.0

図表2



2. 資本金規模

(有効回答数：418)

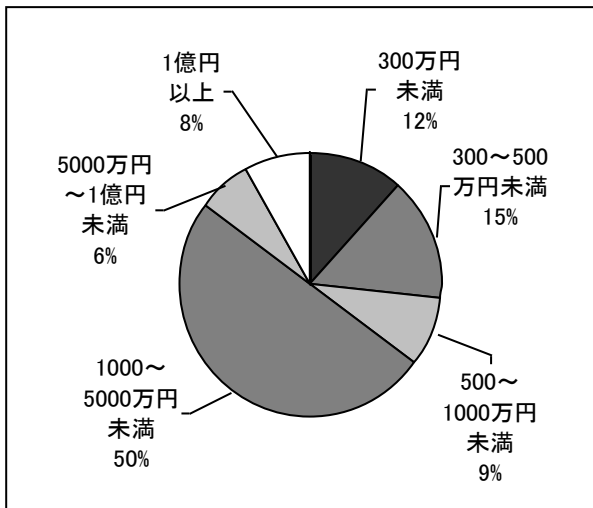
会社形態の事業所を資本金別に見ると、一番多いのが資本金 1000 万円～5000 万円未満のところでは 209 社であり、有効回答数 418 の 50%を占める。次が 300 万円～500 万円未満のところでは 62 社、15%。300 万円未満が 50 社で 12%を占める。

資本金 1 億円以上の会社は 34 社で、全体の 8%となっている。

図表3

資本金	件数	%
300 万円未満	50	12.0
300～500 万円未満	62	14.8
500～1000 万円未満	36	8.6
1000～5000 万円未満	209	50.0
5000 万円～1 億円未満	27	6.5
1 億円以上	34	8.1
合計	418	100.0

図表4



3. 1事業所あたり事業所数別

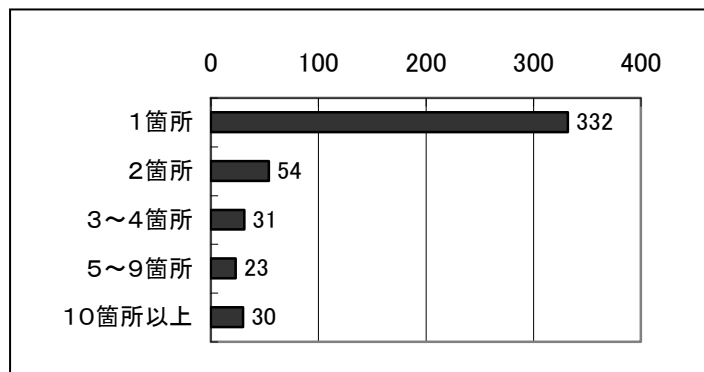
(有効回答数：470)

1事業所当りの事業所数は、1カ所のところが332事業所で全体の70%を占めている。次が2カ所のところで、54事業所で全体の12%。10ヶ所以上で事業展開をしているところも30事業所、全体の6%を占めている。

図表5

事業所数	件数	%
1箇所	332	70.6
2箇所	54	11.5
3～4箇所	31	6.6
5～9箇所	23	4.9
10箇所以上	30	6.4
合計	470	100.0

図表6



4. 従業員数

(有効回答数：491)

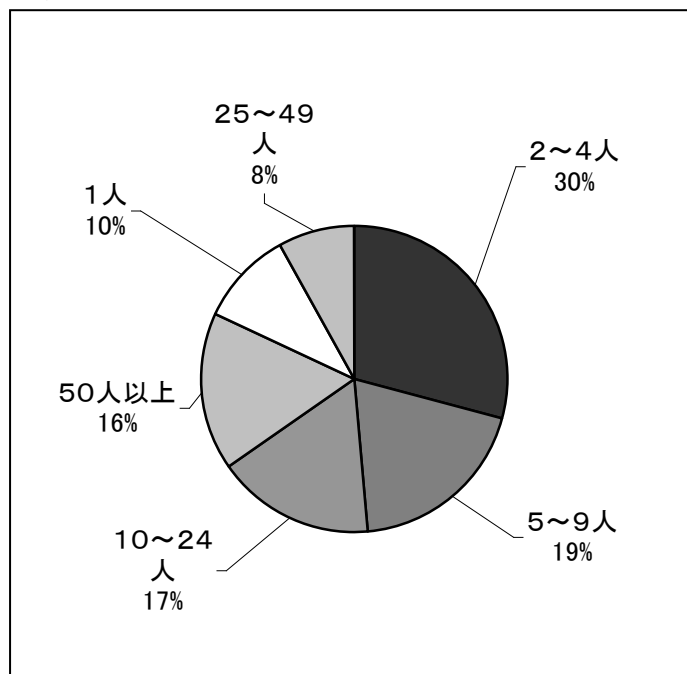
従業員数別事業所で、一番多いのが従業員数2人～4人のところで143事業所あり、有効回答数の29%を占める。次が従業員数5人～9人のところで95事業所20%。

従業員数50人に上のところは81事業所で、有効回答数の16%となっている。

図表7

従業員数	件数	%
1人	50	10.2
2～4人	143	29.1
5～9人	95	19.3
10～24人	83	16.9
25～49人	39	7.9
50人以上	81	16.5
合計	491	100.0

図表8



5. 所在地

(有効回答数：537)

中野区内町名別の事業所所在地は、中野地区が262事業所で全体のほぼ半数を占めている。

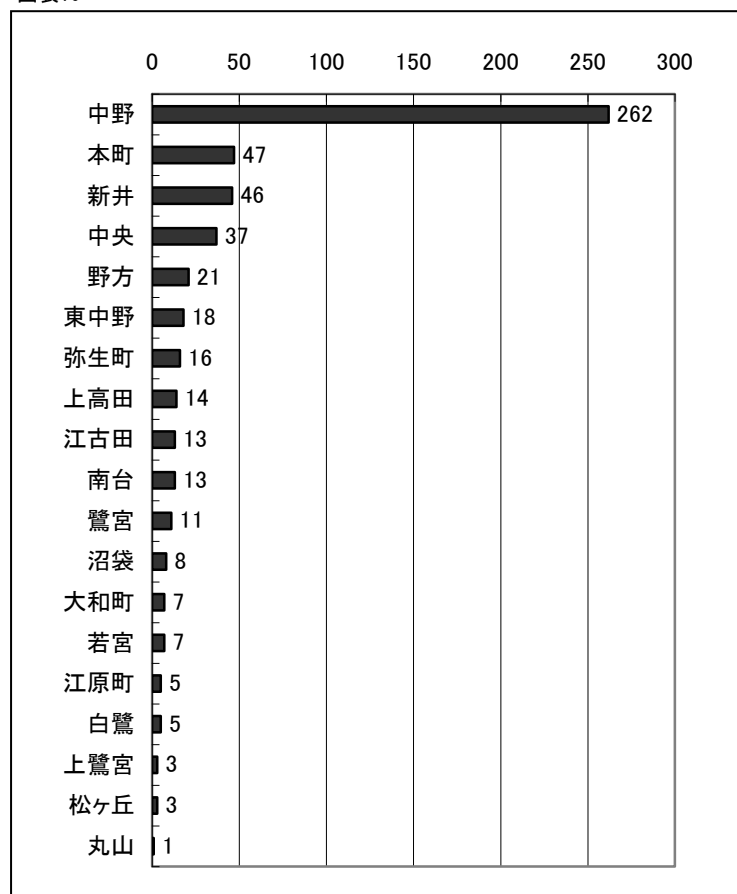
これは、アンケートの対象者が、中野区全体に所在する東京商工会議所中野支部会員及び中野駅周辺まちづくり区域内の事業者に対して行われた結果を反映したものである。

なお、「中野駅周辺まちづくり区域」の範囲は、中野1丁目の一部、中野2丁目の全域、中野3丁目の約半分、中野4丁目の全域、中野5丁目の約半分の区域になっている。

図表9

所在地	件数	%
中野	262	48.8
本町	47	8.8
新井	46	8.6
中央	37	6.9
野方	21	3.9
東中野	18	3.4
弥生町	16	3.0
上高田	14	2.6
江古田	13	2.4
南台	13	2.4
鷺宮	11	2.0
沼袋	8	1.5
大和町	7	1.3
若宮	7	1.3
江原町	5	0.9
白鷺	5	0.9
上鷺宮	3	0.6
松ヶ丘	3	0.6
丸山	1	0.2
合計	537	100.0

図表10



6. 対象区域内立地状況

(有効回答数：548)

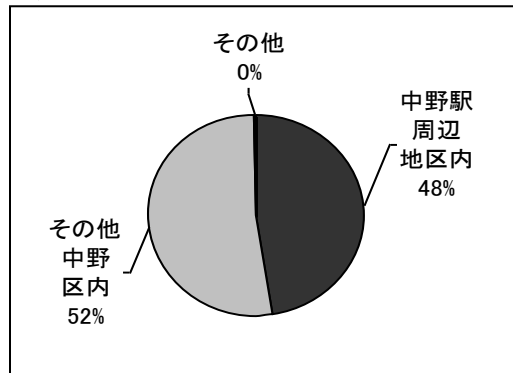
当調査ではＪＲ中野駅周辺まちづくり区域の位置を示す地図を同封し、その区域内事業所とその他区内事業所に分けて集計・分析を行った。

結果としては、中野駅周辺まちづくり区域の事業所が回答者数の48%で、その他区内事業所が52%であった。

図表11

所在地	件数	%
JR中野駅周辺区域内	261	47.6
その他中野区内	285	52.0
その他	2	0.4
合計	548	100.0

図表12



7. 業種

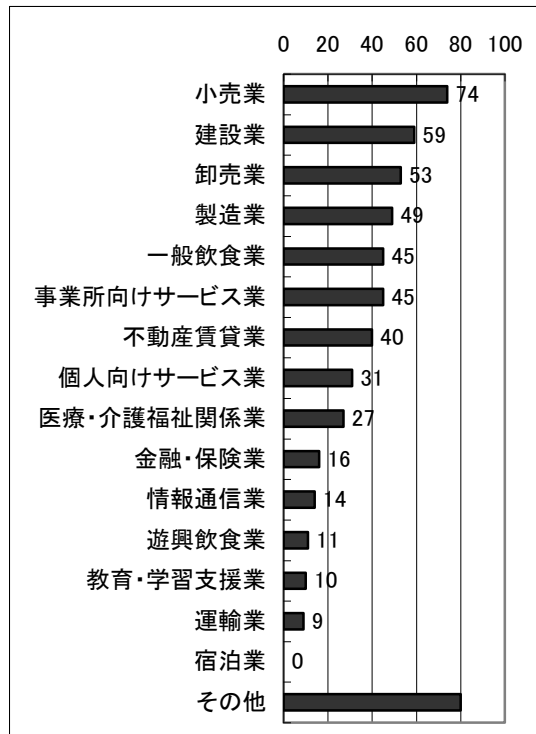
(有効回答数：563)

回答事業所のうちで最も多かったのが小売業で74社、全体の13%。次が建設業で59社、全体の10%を占める。区分としては“その他”が一番多かったが、デザイナー・プロデューサー・執筆・編集、税理士・弁理士等の～士業で事業所・個人等を問わないクライアントのニーズに対応する業種、そして資源回収など環境関連業種等も含まれる。なお、建設業の内容は、一般建設業の他、住宅設備、ビルマンション修繕、家具・建具・木工、塗装、左官等、建物・住宅に関わる多岐業種にわたっている。

図表13

小売業	74	13.1
建設業	59	10.5
卸売業	53	9.4
製造業	49	8.7
一般飲食業	45	8.0
事業所向けサービス業	45	8.0
不動産賃貸業	40	7.1
個人向けサービス業	31	5.5
医療・介護福祉関係業	27	4.8
金融・保険業	16	2.8
情報通信業	14	2.5
遊興飲食業	11	2.0
教育・学習支援業	10	1.8
運輸業	9	1.6
宿泊業	0	0.0
その他	80	14.2
合計	563	100.0

図表14



8. 事業開始年次

(有効回答数：564)

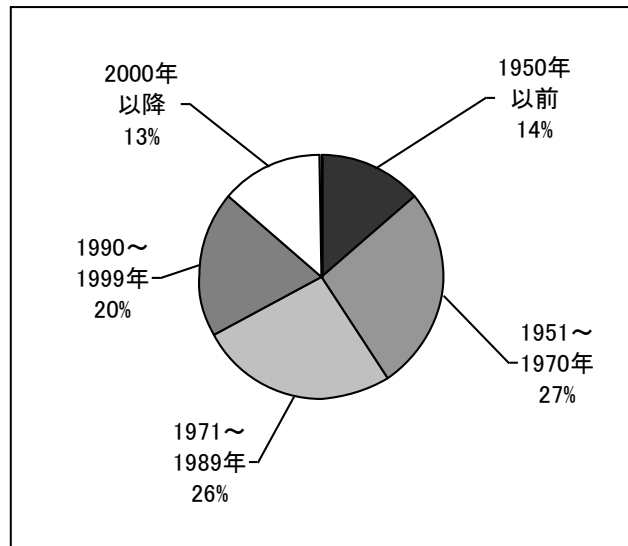
1951年（昭和26年）～1970年（昭和45年）に事業開始したところが152社で、全体の27%を占める。次に多いのが1971年（昭和46年）～1989年（平成元年）に事業開始したところで、147社で全体の26%、次が1990年（平成2年）～1999年（平成11年）に事業開始したところで110社で、全体の20%となっている。

また、1950年（昭和25年）以前創業の事業所は79、2000年（平成12年）以降の創業の事業所は76を数える。

図表15

事業開始年	件数	%
1950 年以前	79	14.0
1951～1970 年	152	27.0
1971～1989 年	147	26.1
1990～1999 年	110	19.5
2000 年以降	76	13.5
合計	564	100.0

図表16



Ⅱ. 設問に対する回答結果

1. 最近1年間の業況

(有効回答数：559)

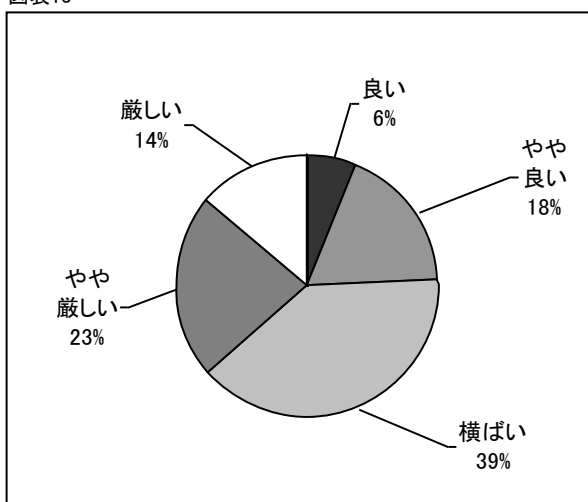
現在の景気については、一番多いのが横ばいであり、全体の39%。
良い、やや良いが全体の24%、反対に厳しい、やや厳しいが全体の36%であった。

中小企業等マイクロベースでは実感が薄いといわれるが、2002年春以来の戦後最長の景気拡大が続いているという政府発表が行われていた時期の調査結果であった。

図表17

最近1年間の業況	件数	%
良い	35	6.3
やや良い	101	18.1
横ばい	218	39.0
やや厳しい	128	22.9
厳しい	77	13.8
合計	559	100.0

図表18



2. 今後の事業展開

(1)全体

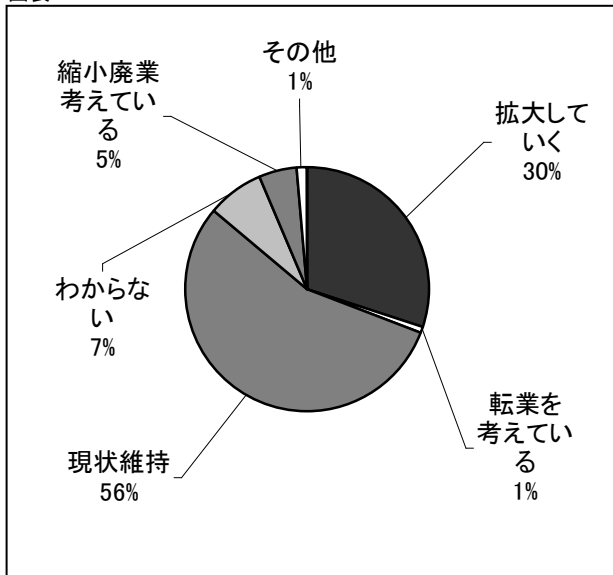
(有効回答数：561)

拡大指向の事業所は、168社で全体の30%。
しかし、現状維持とするところが一番多く、全体で310社、55%だった。

図表19

今後の事業展開	件数	%
①拡大していく	168	29.9
②転業を考えている	5	0.9
③現状維持	310	55.3
④わからない	42	7.5
⑤縮小・廃業を考えている	28	5.0
⑥その他	8	1.4
合計	561	100.0

図表20



(2)従業員規模別

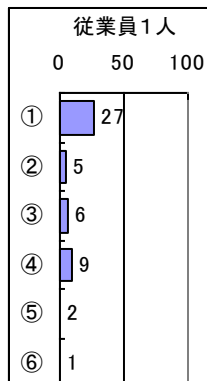
(有効回答数：489)

従業員25人以上の事業者が業容拡大指向が現状維持を上回っている。
従業員24人以下の事業者は現状維持が目立ち、特に従業員数が少ないところほど現状維持傾向が強い。

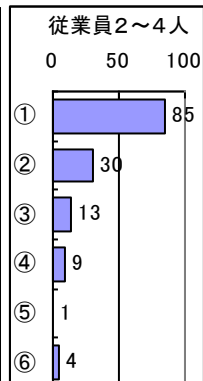
図表 21

今後の事業展開	従業員数						合計
	1 人	2～4 人	5～9 人	10～24 人	25～49 人	50 人以上	
①現状維持	27	85	58	43	15	34	262
②拡大していく	5	30	28	31	21	42	157
③わからない	6	13	5	6	2	4	36
④縮小・廃業を考えている	9	9	1	3	0	0	22
⑤転業を考えている	2	1	1	0	0	0	4
⑥その他	1	4	2	0	0	1	8
合計	50	142	95	83	38	81	489

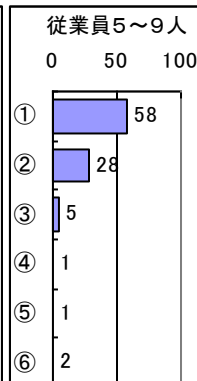
図表 22-1



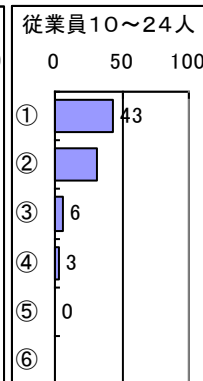
図表 22-2



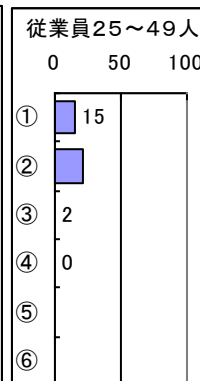
図表 22-3



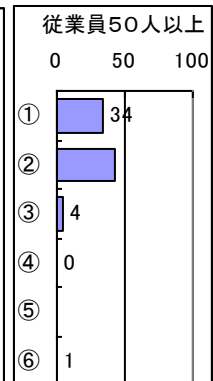
図表 22-4



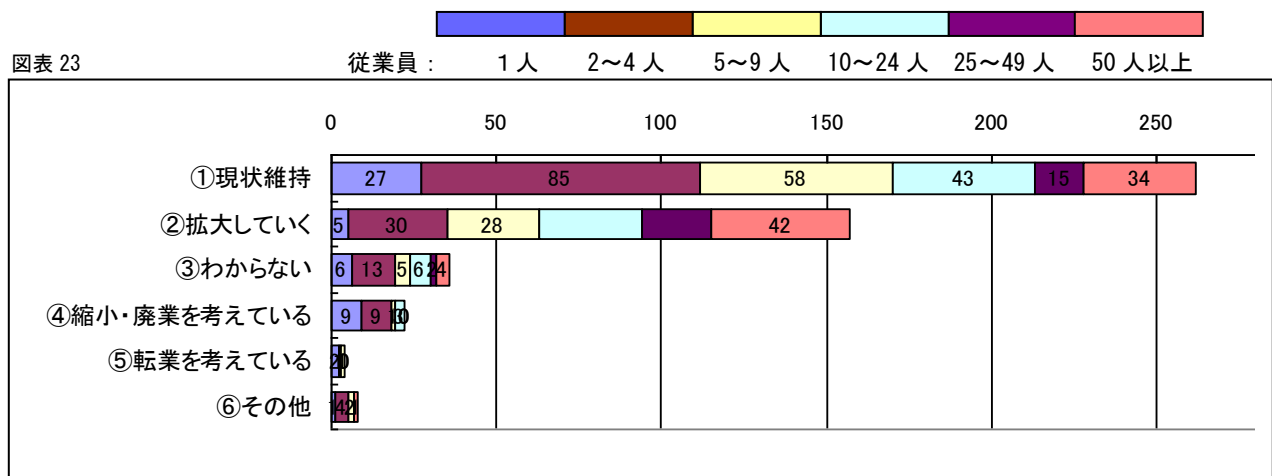
図表 22-5



図表 22-6



図表 23



(3)業種別

(有効回答数：560)

拡大指向の業種を上位からみると、第1位が情報通信業（同業で64%で拡大指向）、第2位が金融・保険業（同50%）、第3位が事業所向けサービス業（49%）、第4位が卸売業の42%であった。

I T、金融、サービスの積極拡大姿勢が目立つが、卸売業の拡大姿勢も目立つ。

中野駅周辺に特に集積の多い業種である小売業、一般飲食業については、現状維持がそれぞれ57%、64%と高く目立っている。

図表 24

今後の事業展開	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売業	小売業	金融・保険業	不動産賃貸業	一般飲食業
①拡大していく	19 32.2%	16 32.7%	9 64.3%	2 22.2%	22 41.5%	16 21.6%	8 50.0%	8 20.0%	6 13.3%
②転業を考えている	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%
③現状維持	35 59.3%	20 40.8%	4 28.6%	4 44.4%	24 45.3%	42 56.8%	7 43.8%	30 75.0%	29 64.4%
④わからない	4 6.8%	7 14.3%	0 0.0%	2 22.2%	3 5.7%	7 9.5%	0 0.0%	1 2.5%	6 13.3%
⑤縮小・廃業を考えている	1 1.7%	5 10.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	8 10.8%	0 0.0%	1 2.5%	1 2.2%
⑥その他	0 0.0%	1 2.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.4%	1 6.3%	0 0.0%	2 4.4%
合計	59 100.0%	49 100.0%	14 100.0%	9 100.0%	53 100.0%	74 100.0%	16 100.0%	40 100.0%	45 100.0%

今後の事業展開	遊興飲食業	宿泊業	医療・介護福祉関係業	教育・学習支援業	個人向サービス業	事業所向サービス業	その他	合計
①拡大していく	1 9.1%	0 0.0%	6 22.2%	4 40.0%	9 29.0%	22 48.9%	19 24.7%	167 29.8%
②転業を考えている	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	5 0.9%
③現状維持	8 72.7%	0 0.0%	18 66.7%	5 50.0%	18 58.1%	16 35.6%	50 64.9%	310 55.4%
④わからない	1 9.1%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	2 6.5%	3 6.7%	4 5.2%	42 7.5%
⑤縮小・廃業を考えている	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	1 10.0%	2 6.5%	4 8.9%	2 2.6%	28 5.0%
⑥その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	8 1.4%
合計	11 100.0%	0 0.0%	27 100.0%	10 100.0%	31 100.0%	45 100.0%	77 100.0%	560 100.0%

(4)資本金規模別

(有効回答数：417)

資本金規模別に関係なく、全般に現状維持指向が強い。
但し、資本金 5000 万円～1 億円未満の事業所については、拡大指向が現状維持を大きく上回っている。
続いて拡大指向が強いのは資本金 1000 万円～5000 万円未満の事業所で、全体の 37%。
資本金 300 万円未満の事業所は拡大指向が 14%に対し、現状維持が 4 倍以上の 62%と多くなっている。

図表 25

今後の事業展開	資本金						合計
	300 万円未満	300～500 万円未満	500～1000 万円未満	1000～5000 万円未満	5000 万～1 億円未満	1 億円以上	
①拡大していく	7 14.0%	16 25.8%	9 25.0%	77 37.0%	17 63.0%	11 32.4%	137 32.9%
②転業を考えている	1 2.0%	1 1.6%	1 2.8%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.0%
③現状維持	31 62.0%	34 54.8%	19 52.8%	108 51.9%	9 33.3%	20 58.8%	221 53.0%
④わからない	3 6.0%	5 8.1%	4 11.1%	17 8.2%	1 3.7%	2 5.9%	32 7.7%
⑤縮小・廃業を考えている	7 14.0%	5 8.1%	3 8.3%	2 1.0%	0 0.0%	1 2.9%	18 4.3%
⑥その他	1 2.0%	1 1.6%	0 0.0%	3 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.2%
合計	50 100.0%	62 100.0%	36 100.0%	208 100.0%	27 100.0%	34 100.0%	417 100.0%

図表 26-1

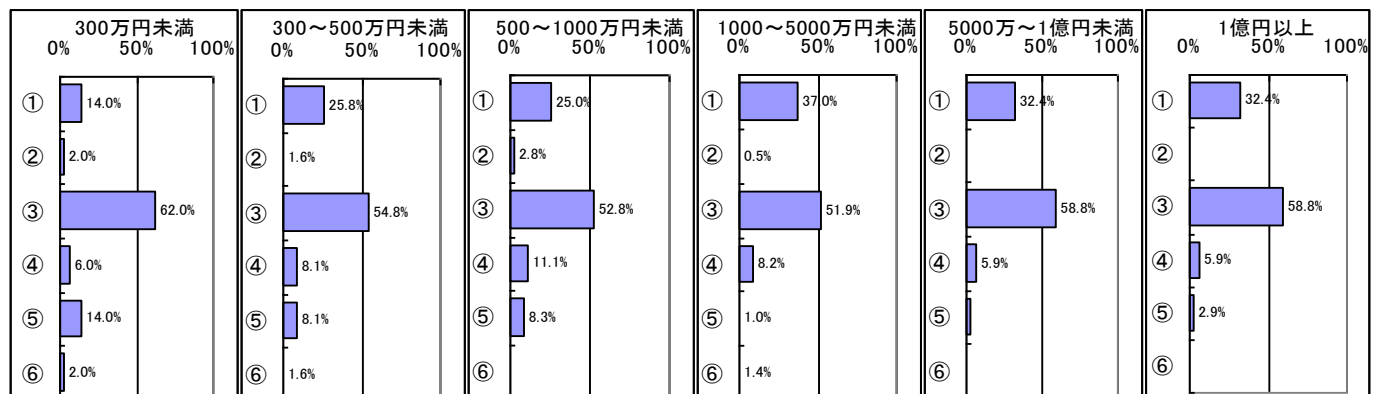
図表 26-2

図表 26-3

図表 26-4

図表 26-5

図表 26-6



3. 拡大志向の事業所が有望と見る立地

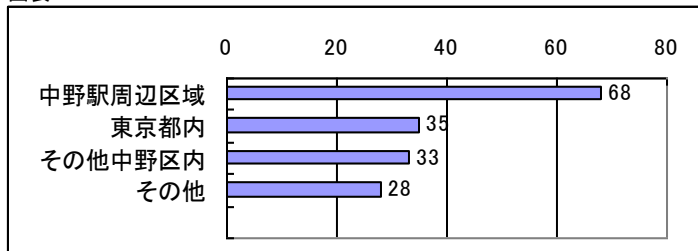
(有効回答数：164)

今後の事業展開について、拡大していく(含・転業を考えている)と答えた事業所数は168。その中で、場所についても回答があったのは164。最も有望とされる場所は、中野駅周辺区域で、68事業所、全体の41%。その他の中野区内の地域を候補地に行っているところは33事業所で全体の20%であった。

図表27

有望な場所	件数	%
中野駅周辺区域	68	41.5
東京都内	35	21.3
その他中野区内	33	20.1
その他	28	17.1
合計	164	100.0

図表28



4. 中野駅周辺区域の再開発についての意向

(有効回答数：531)

中野駅周辺区域の再開発の動きに対して、中野区の活性化に役立つと答えているのは278事業所で、全体の52%。中野区の活性化に対する期待は大きい。

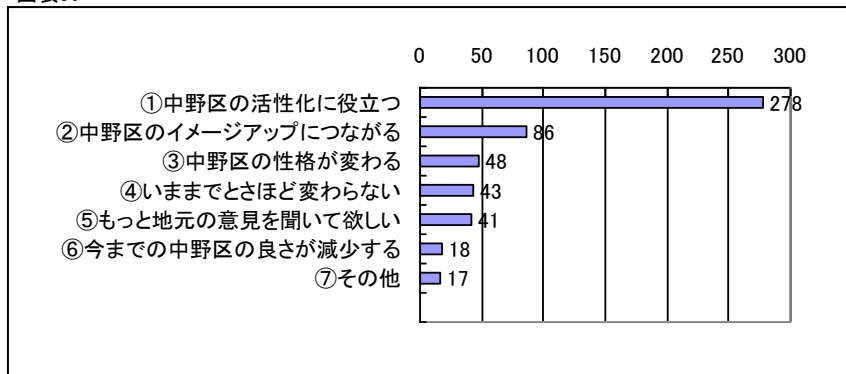
中野区のイメージアップにつながると答えている事業所は86で全体の16%。

全体の7割近くが、中野駅周辺区域の再開発は、中野区の活性化に役立つ、イメージアップにつながると肯定的にとらえている。

図表29

駅周辺再開発について	件数	%
①中野区の活性化に役立つ	278	52.4
②中野区のイメージアップにつながる	86	16.2
③中野区の性格が変わる	48	9.0
④いままでとさほど変わらない	43	8.1
⑤もっと地元の意見を聞いて欲しい	41	7.7
⑥今までの中野区の良さが減少する	18	3.4
⑦その他	17	3.2
合計	531	100.0

図表30



その内容について、主な意見は下記の通りである。(個別意見原文は『Ⅳ. 自由意見』p. 38 ご参照)

① 中野区の活性化に役立つとする理由

最も多い意見は、まちのイメージやコンセプトの刷新に関するもので、

- ・ これまでの中野のマイナスイメージである“ごみごみ”“混沌”“古い”“庶民的”“マニアック”“遅れている”“新宿に吸収されている”“地区イメージが発信されていない”等が、今回の再開発によって、プラスイメージに転換できる。
- ・ 但し、ばらばらではなくしっかりとしたまちづくりのコンセプトを決めて、再開発等が推進されるべきである。
- ・ キーワードとして“明るい”“すっきりしている”“文化程度が高い”等があげられる。
- ・ 再開発計画が、これまでの中野のイメージを一新できることを期待しており、中野駅周辺エリアのイメージ一新が、中野区の活性化に貢献する。

というもの。

さらに、開発効果として駅舎・駅前広場の改良による回遊性の向上を期待する意見も多い。

- ・ 一連の再開発が、中野駅駅舎・駅前広場の早期再開発を促すことになり、それによって、交通・通行動線がすっきりし、回遊性を増すことが出来るだろう。
- ・ 具体的に改札口について言及しているもの、駅の機能性の充実の希望も多かった。
- ・ 駅はまちの顔、またイメージづくりの点でも重要であるから、駅の改良は中野の活性化につながる。

また、開発による病院・学校のほか商業施設などの新たな導入機能による効果や交通インフラの整備、さらに流入人口の増加を期待する意見もみられた。

- ・ 大学や病院、商業などが導入されることにより、必然的に流入人口（昼間人口）の増加が期待される。また、これまで外部に流出していた人が、地域内に留まる可能性も高く、流入人口の増加と流出人口の減少は、需要増大を意味することから、それが中野の活性化に大きく貢献するであろう。
- ・ 大型商業施設病院・学校、文化・芸術・娯楽施設等が誘致導入される。これら従来不足していた機能、施設の導入は、中野区の活性化に貢献する。
- ・ 交通インフラの整備（駐車場の確保・充実、道路整備等）により、バス・タクシー、車の動線整備が図られ、駅出入り口の増設は回遊性を増す。
- ・ 交通・通行のインフラ整備は、人通りを増し、有効需要を増すことによって、各種事業のチャンスを創出し、中野区の活性化に役立つ。しかし、人通りを増やすためには、道路を綺麗にし、緑を植え替えることも重要。そうすれば区民の意識が変わる。それが新しい有効需要を増すことになる。

② 区のイメージアップにつながるとする理由

- ・ 薄暗い、狭く混雑、雑然、行儀の悪い飲食店、寂しい一面のある中野駅周辺。そんなマイナスイメージの払拭を期待している。

というような、すっきりと整然としたまちなみができてよいという意見がもっとも多く、病院・学校の開業誘致を歓迎して、文化的なイメージのアップを期待する意見が見られた。

さらに、「中野のイメージが希薄である今、新しい中野のイメージのシンボリックなものをコンセプトにし、明確な中野のイメージを打ち出す必要がある」というような他の地域にはない中野の明確なシンボルやイメージ、コンセプトの確立を求める意見や開発による需要の増加に期待を寄せる意見の一方で「人口は多いが地元の人と一時的に居住している人との融合がない。核となる施設やイベント（祭り）等があるとまとまるのではないか」というような新旧住民の融合策についての指摘もあった。

③ 中野区の性格が変わるとする理由

「駅が整備され、大学が進出することによって来街者が増える」ことを理由とする意見があった。また、「住宅都市から住宅・商業複合都市へ変わる」というように再開発による都市機能の変化も理由としてあがっている。

ほかに、来街者の増加を理由としている意見では、あわせて中野駅の整備を前提としている。他に多くはないが、「今のままでは独自性のない平凡なまちになる可能性もある」「来街者増加によって新旧の事業者や住民との融合が図られないのではないか」という意見や「商店街への通り抜けが必要なくなって、サンモール商店街やブロードウェイの活況がなくなるのではないか」「中野駅の北側と南側の格差が拡大する」という既存地域への影響を危惧する意見もあった。

④ 今までとさほど変わらないと考える理由

「再開発があっても、これまで同様まちに特徴がないままであり、独自性がでてくるわけではなく、影響は局地的なもの」とする意見のほか、「住みやすさを優先させると現状と変わらない程度の活性化が望ましい」という意見もあった。

⑤ もっと地元の意見を聞いて欲しいという理由

「このままでは取り残されるのではないかという危機感」から「商店街の意見を聞いてほしい」という声のほか、再開発計画の手続きなど情報開示と意見の吸い上げを希望する意見、まちの独自性を維持のために大手ナショナルチェーンばかりのまちにならないよう個人商店保護の希望や来街者と従来からの住民の融合策を求める意見もあった。

⑥ 中野区の良さが減少するとする理由

丸井の閉店を惜しむ意見のほか、「住宅地としてのよさが失われる」「特徴のないまちになる」「中野駅の南側と北側とで格差が拡大する」という意見がみられた。

⑦ その他

「再開発やまちづくりについての情報が不足しているとする意見や中野駅南側への影響を危惧する意見、さらに現在地での営業継続事業者としての意見の吸い上げを希望する意見があった。

また、既存事業者と住民一体での活性化への取り組みが必要という意見もあった。

5. 将来の中野駅周辺区域について描く地区イメージ

(有効回答数：529 3つまでの複数選択)

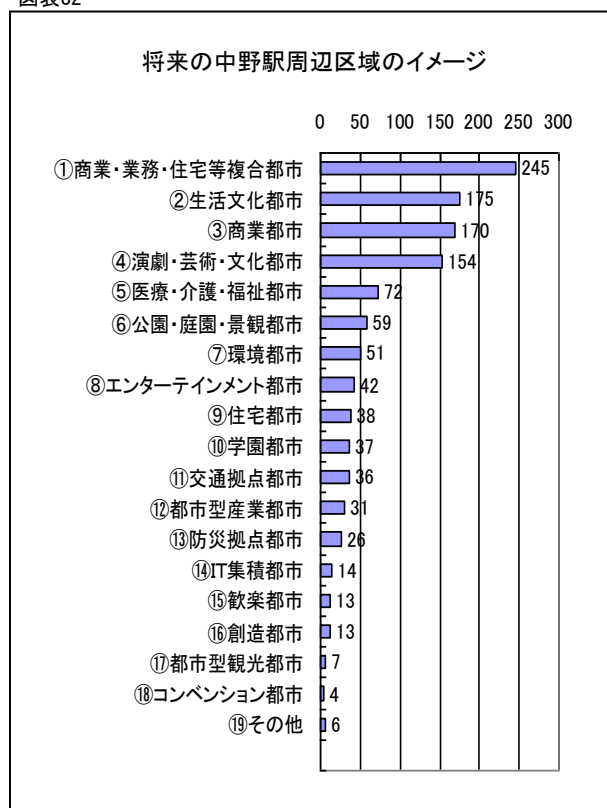
中野駅周辺区域は将来大きな変貌を遂げることが予想されるが、それをどんな区域イメージとしてとらえているかを尋ねたところ、「商業・業務・住宅等の複合都市」が全体の46%と一番多く、次いで「生活文化都市」が33%と続いており、以下、「商業都市」、「演劇・芸術・文化都市」となっている。

警察大学校跡地の利用計画には、平成20年4月にオープンする東京警察病院のほかに明治大学、平成帝京大学の進出が決まっているが、「医療・介護・福祉都市」の回答数と比べると「学園都市」の回答は少なく、再開発計画の大学進出の認知度の低さや、あるいは、病院がまもなく開業時期を迎えて施設建設が進んでいることとの違いとも思われる。

図表31

将来の中野駅周辺地区のイメージ	件数	%
①商業・業務・住宅等複合都市	245	46.3
②生活文化都市	175	33.1
③商業都市	170	32.1
④演劇・芸術・文化都市	154	29.1
⑤医療・介護・福祉都市	72	13.6
⑥公園・庭園・景観都市	59	11.2
⑦環境都市	51	9.6
⑧エンターテインメント都市	42	7.9
⑨住宅都市	38	7.2
⑩学園都市	37	7
⑪交通拠点都市	36	6.8
⑫都市型産業都市	31	5.9
⑬防災拠点都市	26	4.9
⑭IT集積都市	14	2.6
⑮歓楽都市	13	2.5
⑯創造都市	13	2.5
⑰都市型観光都市	7	1.3
⑱コンベンション都市	4	0.8
⑲その他	6	1.1
合計	1193	225.5

図表32



6. 将来の中野駅周辺区域の類似イメージ都市

(有効回答数：509)

将来の中野駅周辺区域の都市イメージを尋ね、その具体的な類似するイメージ都市を聞いたところ、一番多いのが、吉祥寺で全体の35%、次が荻窪、阿佐ヶ谷、高円寺等の16%であった。

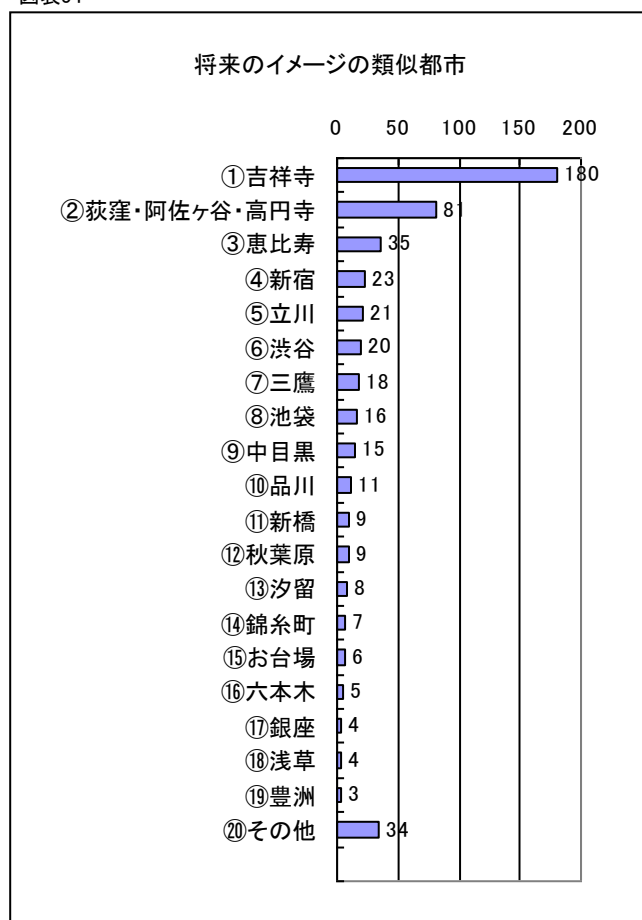
中野は山手線圏内から外れる新宿以西の中央線沿線の入口部分にあたることから、独自の中央線沿線文化を持つ地域にイメージを重ねあわせる傾向が強いようである。

3番目には、恵比寿があがっているが、恵比寿ガーデンプレースの開業で一躍脚光を浴びたイメージの影響とも思われる。

図表33

将来のイメージの類似都市	件数	%
①吉祥寺	180	35.4
②荻窪・阿佐ヶ谷・高円寺	81	15.9
③恵比寿	35	6.9
④新宿	23	4.5
⑤立川	21	4.1
⑥渋谷	20	3.9
⑦三鷹	18	3.5
⑧池袋	16	3.1
⑨中目黒	15	2.9
⑩品川	11	2.2
⑪新橋	9	1.8
⑫秋葉原	9	1.8
⑬汐留	8	1.6
⑭錦糸町	7	1.4
⑮お台場	6	1.2
⑯六本木	5	1.0
⑰銀座	4	0.8
⑱浅草	4	0.8
⑲豊洲	3	0.6
⑳その他	34	6.7
合計	509	100.0

図表34



7. 活性化後の中野駅周辺区域におけるビジネス展開

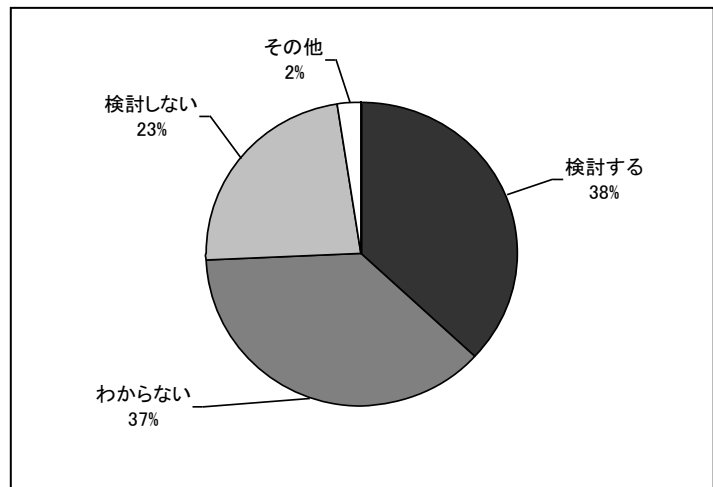
(有効回答数：530)

中野駅周辺地区に近い将来活性化された場合、そこでの事業展開を検討すると答えたところは196事業所で、全体の37%であり、わからないと答えたところとほぼ同数であった。

図表35

ビジネス展開	件数	%
①検討する	196	37.0
②わからない	197	37.2
③検討しない	124	23.4
④その他	13	2.5
合計	530	100.0

図表36



その主な意見は下記の通り。(個別意見原文は『Ⅳ. 自由意見』p. 46 ご参照)

① 中野駅周辺地区におけるビジネスを検討する理由

「人の流れが変わり、人が集まる」など集客力に期待した「ビジネスチャンス」や「活性化」をあげる意見が最も多く、次いで「中野への愛着」や「住居との近さ」「交通利便性」が理由となっている。ほかに「現況・現状打開」や「ニーズ変化への適応の機会」として捉える意見もある。

一方で、産業集積や都市機能のレベルアップを前提に「計画が具体的になったところで検討する」との意見もあった。さらに、「コストや賃料が見合えばビジネス展開したい」という意見もあり、そのための公的補助を期待する声もみられた。

② 中野駅周辺地区におけるビジネス展開は分からないとする理由

「再開発の計画次第であり、具体的にならないとわからない」との意見がもっとも多く、次いで、「自社の都合や条件次第」として展開にあたっては賃料・資金採算をポイントとする意見も多くみられた。

一方で、業種特性から「必ずしも駅近くである必要がない」という意見もあった。

③ 中野駅周辺地区におけるビジネス展開をしない理由

業種特性から展開不要とする意見がもっとも多かった。他に、既に場所・業務内容ともに満足しており顧客へも浸透しているなどの理由から現在地がよい、需要がないとする意見が続いた。

また、コストや規模が見合わず、メリットがないという意見もあった。

8. 中野駅周辺区域の事業所立地上の魅力

(有効回答数：517)

中野駅周辺区域に事業所が立地する第1の魅力が「交通が便利である」こと、第2が「中野区の中心的な場所である」こと、第3が「新宿に近い」という理由であり、これらの評価は絶対的（魅力が大きい、やや大きいを上回る）に高い。

続いて、魅力が“大きい”と“やや大きい”との合計が半数を超え、魅力的であるといえるものに「生活に便利」、「従業員が通勤しやすい」、「今後の発展が楽しみ」、「区役所・商工会議所等の公的施設がある」、「駅乗降客が多い」があげられている。

反面、魅力の面で圧倒的に見劣りする点としては、「道路が狭く」かつ「駐車場の確保が困難」という車の利用に関した項目があげられている。

さらに、魅力が“少ない”と“やや少ない”が多く、魅力としては不足していると考えられるものに「地域のブランド・イメージ」と「経営・研究開発に有利な情報が得られる」というものがあった。

一方で、優秀な人材の確保の点では“どちらともいえない”という回答が65%を占め、従業員の通勤など圧倒的な軌道系交通アクセスのよさと比較的评价が高い創業のしやすさなどの魅力にもかかわらず、雇用確保にはつながっていないようである。

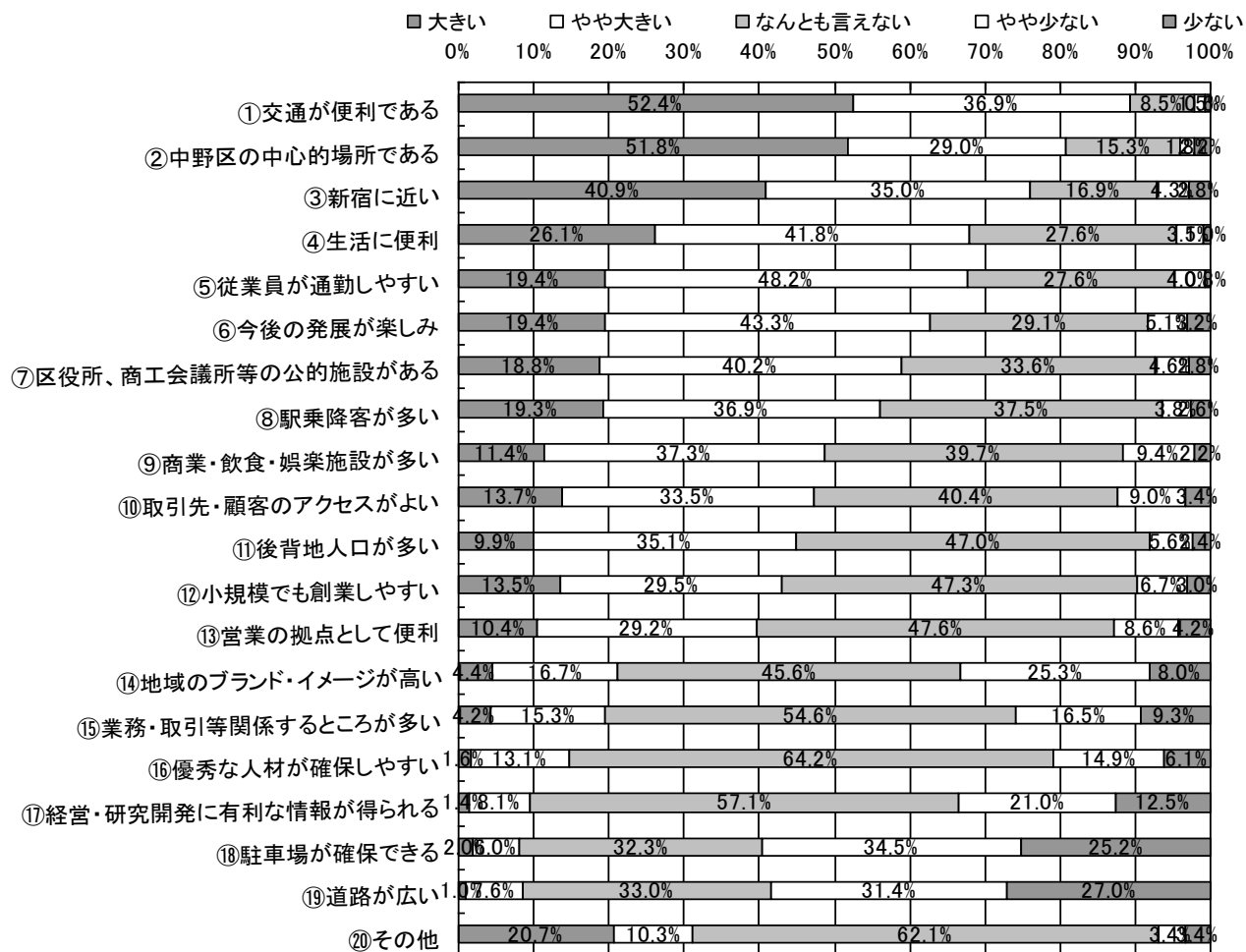
車以外の交通の便利性は高く、生活するにも便利であるが、「地域イメージ」や「経営・研究開発支援」「雇用確保」といったソフト面での弱さが指摘されている。

図表37

項目	中野駅周辺地区の事業所立地上の魅力									
	大きい		やや大きい		なんとも 言えない		やや少ない		少ない	
①交通が便利である	271	52.4%	191	36.9%	44	8.5%	8	1.5%	3	0.6%
②中野区の中心的場所である	261	51.8%	146	29.0%	77	15.3%	9	1.8%	11	2.2%
③新宿に近い	208	40.9%	178	35.0%	86	16.9%	22	4.3%	14	2.8%
④生活に便利	133	26.1%	213	41.8%	141	27.6%	18	3.5%	5	1.0%
⑤従業員が通勤しやすい	98	19.4%	243	48.2%	139	27.6%	20	4.0%	4	0.8%
⑥今後の発展が楽しみ	98	19.4%	219	43.3%	147	29.1%	26	5.1%	16	3.2%
⑦区役所、商工会議所等の公的施設がある	94	18.8%	201	40.2%	168	33.6%	23	4.6%	14	2.8%
⑧駅乗降客が多い	97	19.3%	185	36.9%	188	37.5%	19	3.8%	13	2.6%
⑨商業・飲食・娯楽施設が多い	57	11.4%	187	37.3%	199	39.7%	47	9.4%	11	2.2%
⑩取引先・顧客のアクセスがよい	69	13.7%	168	33.5%	203	40.4%	45	9.0%	17	3.4%
⑪後背地人口が多い	49	9.9%	174	35.1%	233	47.0%	28	5.6%	12	2.4%
⑫小規模でも創業しやすい	68	13.5%	149	29.5%	239	47.3%	34	6.7%	15	3.0%
⑬営業の拠点として便利	52	10.4%	146	29.2%	238	47.6%	43	8.6%	21	4.2%
⑭地域のブランド・イメージが高い	22	4.4%	83	16.7%	227	45.6%	126	25.3%	40	8.0%
⑮業務・取引等関係するところが多い	21	4.2%	76	15.3%	271	54.6%	82	16.5%	46	9.3%
⑯優秀な人材が確保しやすい	8	1.6%	65	13.1%	318	64.2%	74	14.9%	30	6.1%
⑰経営・研究開発に有利な情報が得られる	7	1.4%	40	8.1%	283	57.1%	104	21.0%	62	12.5%
⑱駐車場が確保できる	10	2.0%	30	6.0%	163	32.3%	174	34.5%	127	25.2%
⑲道路が広い	5	1.0%	38	7.6%	165	33.0%	157	31.4%	135	27.0%
⑳その他	6	20.7%	3	10.3%	18	62.1%	1	3.4%	1	3.4%
合計	1,634		2,735		3,547		1,060		597	

中野駅周辺区域の事業所立地上の魅力

図表38



9. 賑わいをつくりだすために有効な産業振興支援策

(1)全回答

(有効回答数：531 3つまでの複数選択)

中野駅周辺地域の賑わいをつくりだすために有効な産業振興支援策として期待されるものは、第1に「駅前広場の整備」、第2が「駅舎の整備」、第3は、「歩行者専用道路、自転車専用ゾーンの整備」であり、都市インフラの整備が最も求められる産業振興支援策であった。

さらに、中野の地域ブランド・イメージに大きく関わるような「文化・芸術・イベント活動についての情報提供」「来街者用の地区や通り、店舗等の情報マップ」「地元住民用の店舗等の情報マップ」等、もっと情報提供やそのためのプロモーションが必要という回答は多かったが、「標識や案内板の整備」「来街者用の情報提供デスク」については回答数が少なく、まずは来街者・地元住民における基礎的な情報提供ツールレベルの整備が求められているようである。

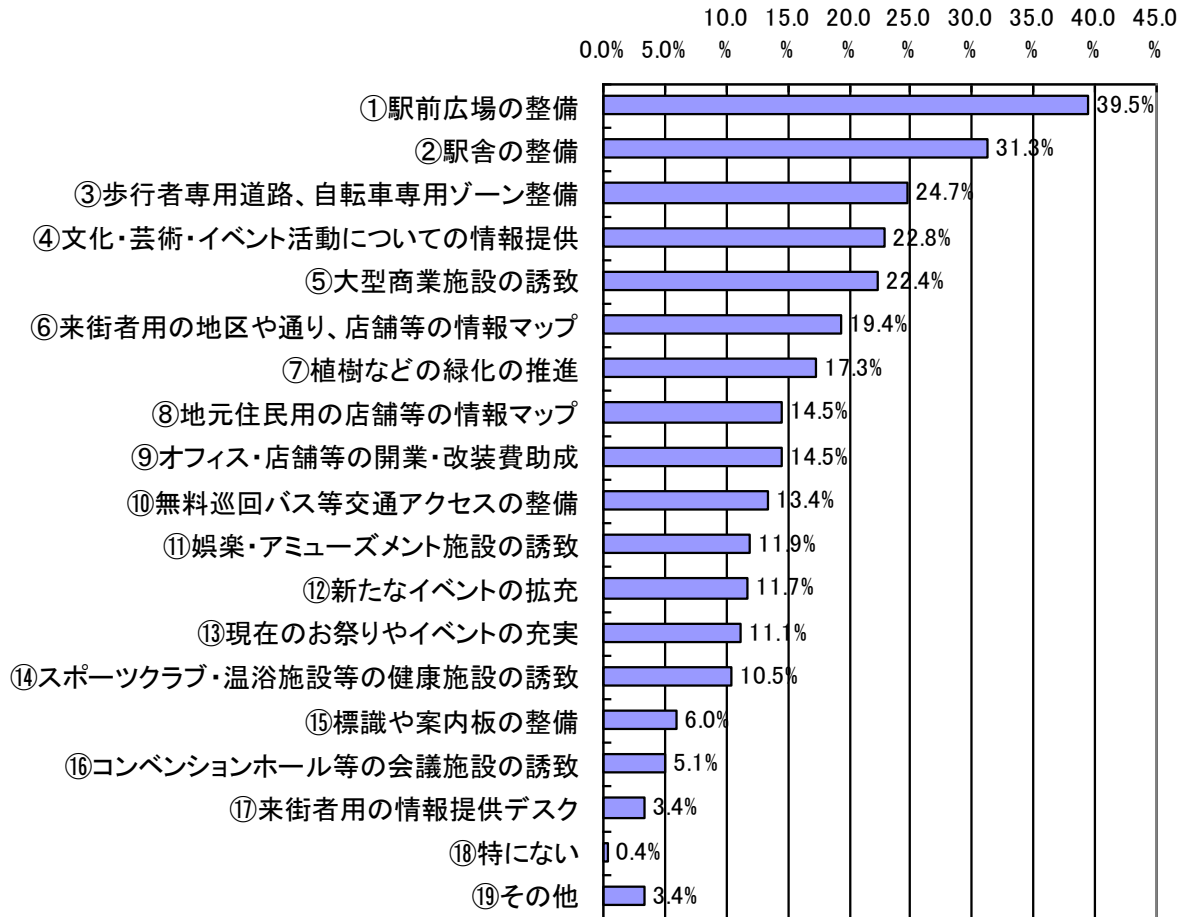
新しい施設の誘致に関しては、大型商業施設が上位にきているが、自由回答のなかでは大型商業施設は不要という意見もみられ、議論は分かれるところであろう。「植樹など緑化の推進」も比較的上位にあがっている。

図表39

有効な産業振興支援策	件数	%
①駅前広場の整備	210	39.5
②駅舎の整備	166	31.3
③歩行者専用道路、自転車専用ゾーン整備	131	24.7
④文化・芸術・イベント活動についての情報提供	121	22.8
⑤大型商業施設の誘致	119	22.4
⑥来街者用の地区や通り、店舗等の情報マップ	103	19.4
⑦植樹などの緑化の推進	92	17.3
⑧地元住民用の店舗等の情報マップ	77	14.5
⑨オフィス・店舗等の開業・改装費助成	77	14.5
⑩無料巡回バス等交通アクセスの整備	71	13.4
⑪娯楽・アミューズメント施設の誘致	63	11.9
⑫新たなイベントの拡充	62	11.7
⑬現在のお祭りやイベントの充実	59	11.1
⑭スポーツクラブ・温浴施設等の健康施設の誘致	56	10.5
⑮標識や案内板の整備	32	6.0
⑯コンベンションホール等の会議施設の誘致	27	5.1
⑰来街者用の情報提供デスク	18	3.4
⑱特にない	2	0.4
⑲その他	18	3.4
合計	1,504	283.2

有効な産業振興支援策

図表40



(2)中野駅周辺区域へのビジネス展開の意向別

(有効回答数：520 3つまでの複数選択)

中野駅周辺区域でのビジネス展開についての意向別に、にぎわい創出のために求められる産業振興施策を見てみると、上位2項目「駅前広場の整備」「駅舎の整備」についてはいずれも同じであるが、3位以降については、意向別に異なっている。

中野駅周辺区域でのビジネス展開を“検討する”とする事業者は、3位に「歩行者専用道路、自転車専用ゾーン整備」、続いて「オフィス・店舗等の開業・改装費助成」があがっており、現実的なニーズが結果に現れている。

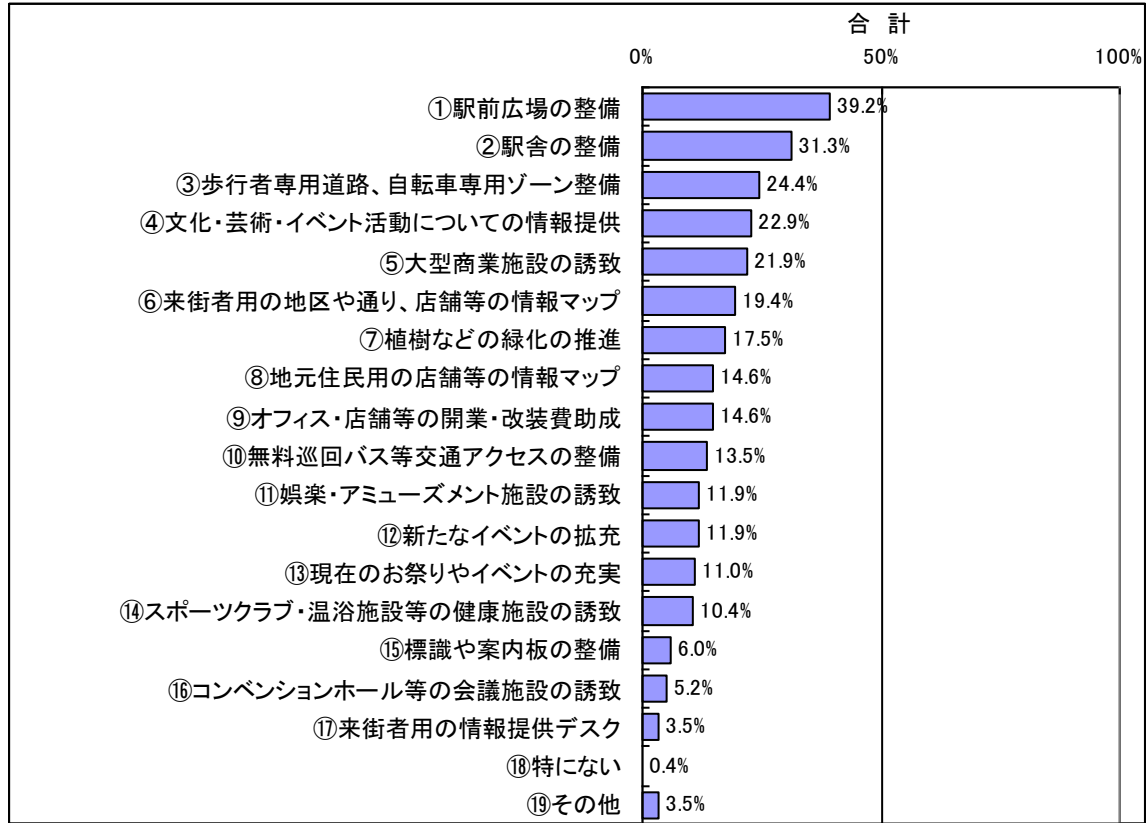
一方、中野駅周辺区域でのビジネス展開を“検討しない”事業者については、1位の「駅前広場の整備」の回答比率がビジネス展開意向別で比べると特に高く、3位には「文化・芸術・イベント活動についての情報提供」、また5位には「植樹など緑化の推進」があげられているのが特徴的である。まちの印象やイメージづくりに重要と思われる駅前広場や文化・芸術、緑についての回答は、新しい中野のイメージアップへの期待感ともつながっているものと考えられる。

他に、中野駅周辺区域でのビジネス展開について“わからない”と答えた事業者においては、「新たなイベントの拡充」や「現在のお祭りやイベントの充実」の選択が比較的多いことが特徴的といえ、ビジネスの立地にかかわらず地域の一体感を感じられる機会や演出は重要といえそうである。

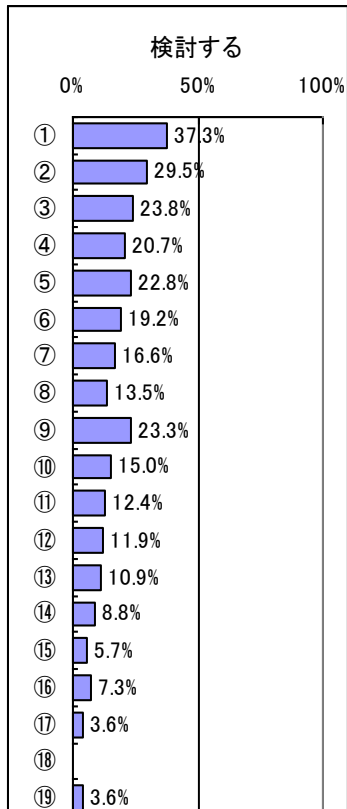
図表 41

支援策:そこでのビジネスを検討されますか	検討する		わからない		検討しない		合計	
①駅前広場の整備	72	37.3%	72	37.3%	53	43.8%	204	39.2%
②駅舎の整備	57	29.5%	66	34.2%	37	30.6%	163	31.3%
③歩行者専用道路、自転車専用ゾーン整備	46	23.8%	52	26.9%	28	23.1%	127	24.4%
④文化・芸術・イベント活動についての情報提供	40	20.7%	47	24.4%	30	24.8%	119	22.9%
⑤大型商業施設の誘致	44	22.8%	43	22.3%	24	19.8%	114	21.9%
⑥来街者用の地区や通り、店舗等の情報マップ	37	19.2%	41	21.2%	21	17.4%	101	19.4%
⑦植樹などの緑化の推進	32	16.6%	31	16.1%	26	21.5%	91	17.5%
⑧地元住民用の店舗等の情報マップ	26	13.5%	27	14.0%	19	15.7%	76	14.6%
⑨オフィス・店舗等の開業・改装費助成	45	23.3%	23	11.9%	7	5.8%	76	14.6%
⑩無料巡回バス等交通アクセスの整備	29	15.0%	23	11.9%	17	14.0%	70	13.5%
⑪娯楽・アミューズメント施設の誘致	24	12.4%	18	9.3%	17	14.0%	62	11.9%
⑫新たなイベントの拡充	23	11.9%	24	12.4%	14	11.6%	62	11.9%
⑬現在のお祭りやイベントの充実	21	10.9%	24	12.4%	10	8.3%	57	11.0%
⑭スポーツクラブ・温浴施設等の健康施設の誘致	17	8.8%	23	11.9%	14	11.6%	54	10.4%
⑮標識や案内板の整備	11	5.7%	14	7.3%	6	5.0%	31	6.0%
⑯コンベンションホール等の会議施設の誘致	14	7.3%	6	3.1%	5	4.1%	27	5.2%
⑰来街者用の情報提供デスク	7	3.6%	5	2.6%	5	4.1%	18	3.5%
⑱特にない	0	0.0%	1	0.5%	1	0.8%	2	0.4%
⑲その他	7	3.6%	8	4.1%	2	1.7%	18	3.5%
合計	552	286.0%	548	283.9%	336	277.7%	1472	283.1%

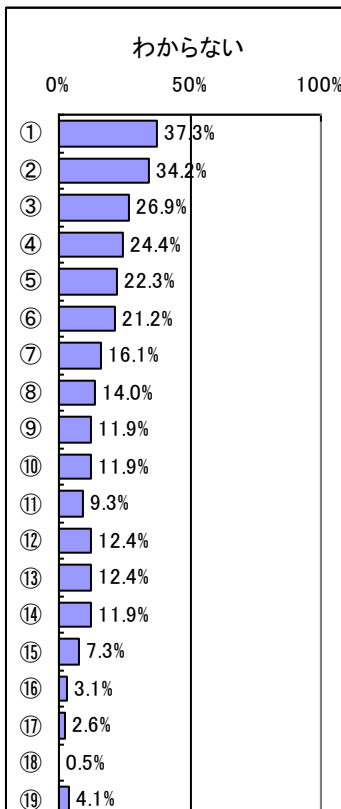
図表 42



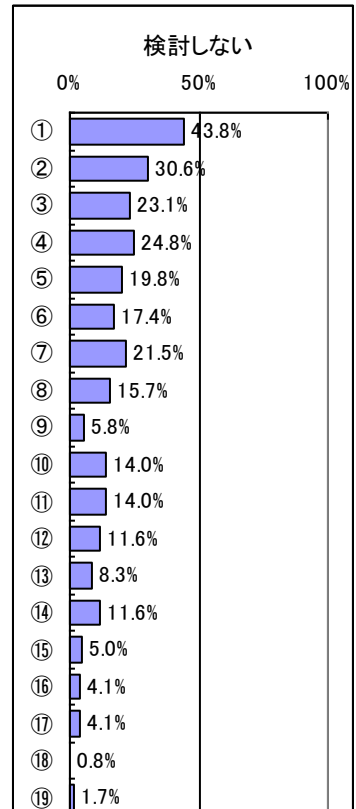
図表 43-1



図表 43-2



図表 43-3



(3)事業所立地(対象区域内・外)別

(有効回答数：517 3つまでの複数選択)

今回の調査では、J R 中野駅周辺区域内の事業者と、その他中野区内の事業者の回答割合は、ほぼ半数ずつであったが、賑わいをつくりだすために有効な産業振興支援策について事業者の現在の立地からみた際に、回答率に大きな差があった主なものは以下のとおりである。

特に、中野駅周辺地域の内外で9ポイントもの大きな差があったのが「植樹などの緑化の推進」であり、その他中野区内事業者からの要望では上位にあがっている。一方、中野駅周辺地域の事業者にとって有効な産業振興支援策の3番目は「大型商業施設の誘致」であり、緑化と商業施設に関する点は事業所の立地によって顕著な差となっている。

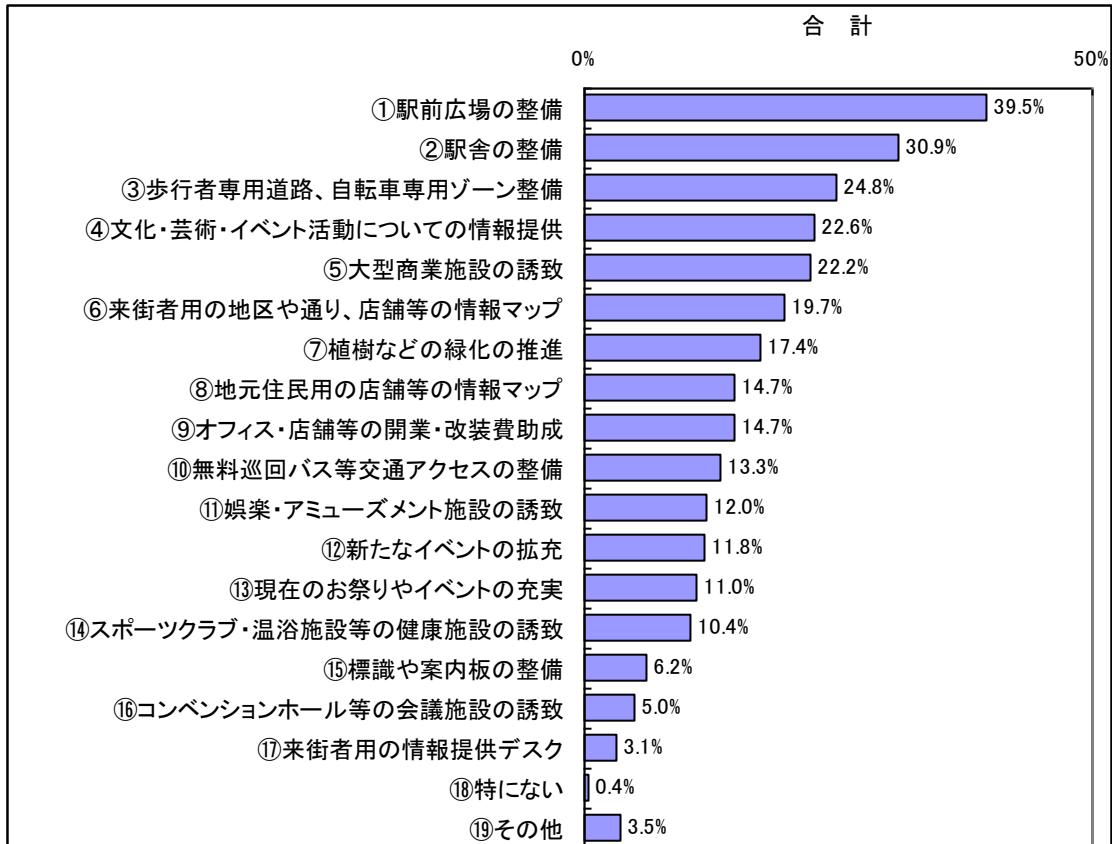
また、「無料巡回バス等交通アクセス整備」をあげているその他中野区内の事業所に対し、中野駅周辺区域内立地の事業所は「地元住民用の店舗等の情報マップ」を要望しており、立地による現実的なニーズとしての差が現れている。

さらに、順位としては、地域を問わず2番目にあがっている「駅舎の整備」だが、回答率では5ポイントの差があり、中野駅周辺区域の事業者にとって歩行者動線等の重要性を示す結果となっている。

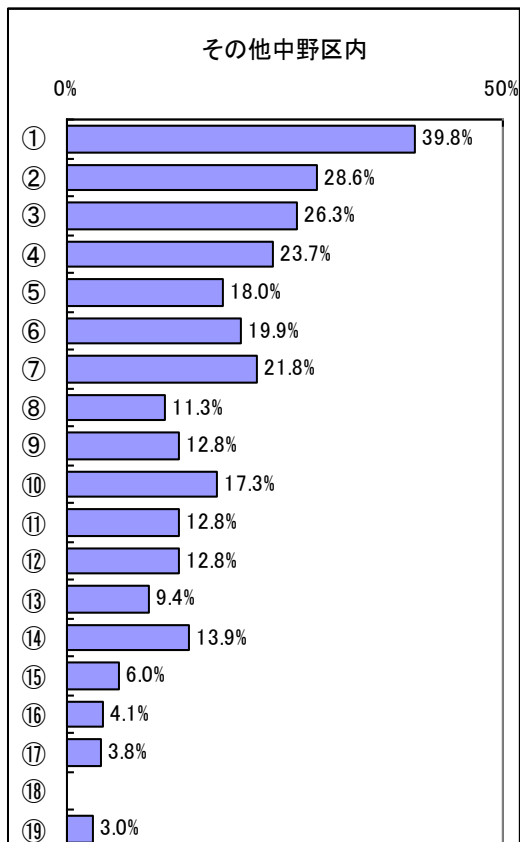
図表44

有効だと思われる 産業振興支援策	JR中野駅周辺区域内		その他中野区内		合計	
	件	%	件	%	件	%
①駅前広場の整備	97	38.8%	106	39.8%	204	39.5%
②駅舎の整備	84	33.6%	76	28.6%	160	30.9%
③歩行者専用道路、自転車専用ゾーン整備	58	23.2%	70	26.3%	128	24.8%
④文化・芸術・イベント活動についての情報提供	53	21.2%	63	23.7%	117	22.6%
⑤大型商業施設の誘致	67	26.8%	48	18.0%	115	22.2%
⑥来街者用の地区や通り、店舗等の情報マップ	49	19.6%	53	19.9%	102	19.7%
⑦植樹などの緑化の推進	32	12.8%	58	21.8%	90	17.4%
⑧地元住民用の店舗等の情報マップ	46	18.4%	30	11.3%	76	14.7%
⑨オフィス・店舗等の開業・改装費助成	42	16.8%	34	12.8%	76	14.7%
⑩無料巡回バス等交通アクセスの整備	23	9.2%	46	17.3%	69	13.3%
⑪娯楽・アミューズメント施設の誘致	28	11.2%	34	12.8%	62	12.0%
⑫新たなイベントの拡充	26	10.4%	34	12.8%	61	11.8%
⑬現在のお祭りやイベントの充実	32	12.8%	25	9.4%	57	11.0%
⑭スポーツクラブ・温浴施設等の健康施設の誘致	17	6.8%	37	13.9%	54	10.4%
⑮標識や案内板の整備	16	6.4%	16	6.0%	32	6.2%
⑯コンベンションホール等の会議施設の誘致	15	6.0%	11	4.1%	26	5.0%
⑰来街者用の情報提供デスク	6	2.4%	10	3.8%	16	3.1%
⑱特にない	2	0.8%	0	0.0%	2	0.4%
⑲その他	10	4.0%	8	3.0%	18	3.5%
合計	704	281.6%	759	285.3%	1466	283.6%

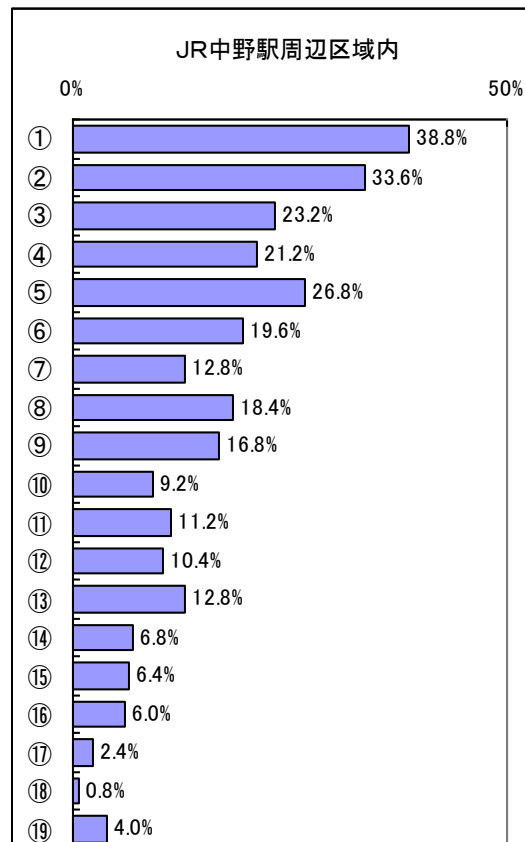
図表 45-1



図表 45-2



図表 45-3



10. 中野駅周辺地域の活性化のための有効な施策

(1)全回答

(有効回答数：515 3つまでの複数選択)

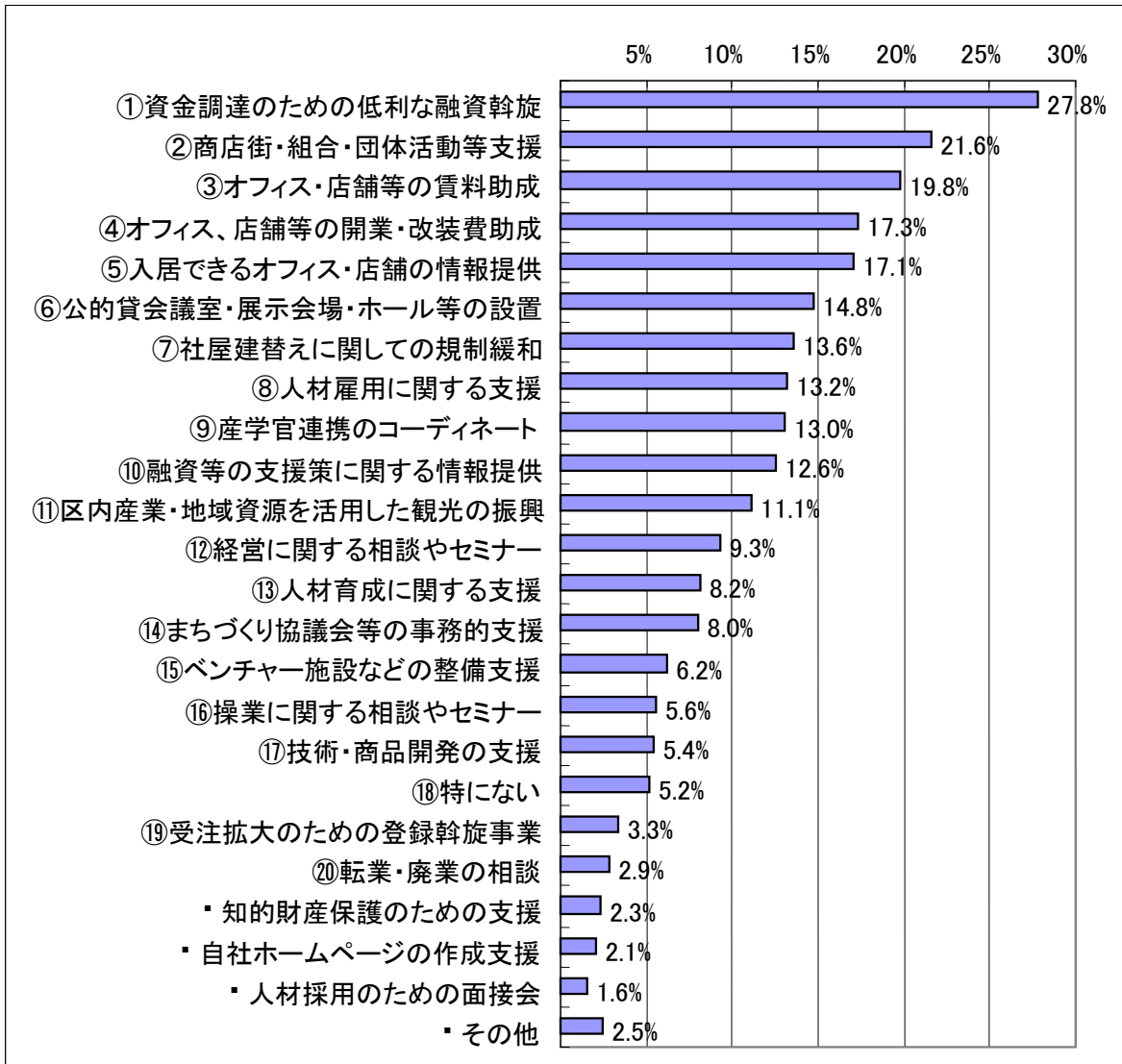
中野駅周辺地域の活性化のための有効と思われる施策については、第1に望まれていることは、「資金調達のための低利な融資斡旋」で全体の28%、第2が「商店街・組合・団体活動等支援」であり全体の22%であった。

第3位は、「オフィス・店舗等の賃料助成」で全体の20%、第4位が「オフィス・店舗等の開業・改装費助成」で全体の17%、第5位が「入居できるオフィス・店舗についての情報提供」であり、全体の17%であった。

図表46

活性化のために有効な施策	件数	%
①資金調達のための低利な融資斡旋	143	27.8
②商店街・組合・団体活動等支援	111	21.6
③オフィス・店舗等の賃料助成	102	19.8
④オフィス、店舗等の開業・改装費助成	89	17.3
⑤入居できるオフィス・店舗の情報提供	88	17.1
⑥公的貸会議室・展示会場・ホール等の設置	76	14.8
⑦社屋建替えに関する規制緩和	70	13.6
⑧人材雇用に関する支援	68	13.2
⑨産学官連携のコーディネート	67	13.0
⑩融資等の支援策に関する情報提供	65	12.6
⑪区内産業・地域資源を活用した観光の振興	57	11.1
⑫経営に関する相談やセミナー	48	9.3
⑬人材育成に関する支援	42	8.2
⑭まちづくり協議会等の事務的支援	41	8.0
⑮ベンチャー施設などの整備支援	32	6.2
⑯操業に関する相談やセミナー	29	5.6
⑰技術・商品開発の支援	28	5.4
⑱特にない	27	5.2
⑲受注拡大のための登録斡旋事業	17	3.3
⑳転業・廃業の相談	15	2.9
▪ 知的財産保護のための支援	12	2.3
▪ 自社ホームページの作成支援	11	2.1
▪ 人材採用のための面接会	8	1.6
▪ その他	13	2.5
合計	1259	244.5

図表47



(2)事業所立地(対象地域内・外)別

(有効回答数：501 3つまでの複数選択)

事業所の立地別（中野駅周辺区域内・外）に中野駅周辺地域の活性化のために有効だと思われる施策への回答状況をみると上位10項目については、以下のとおりである。

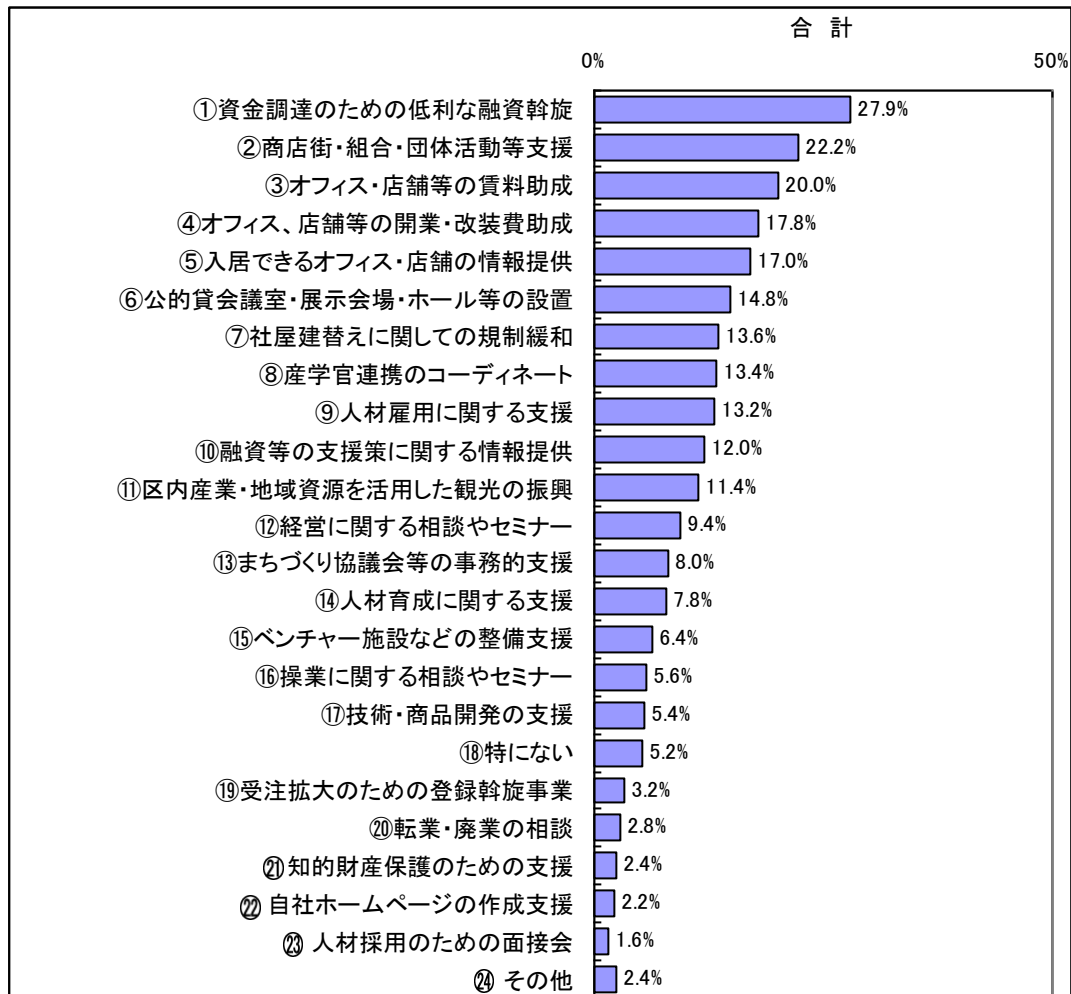
立地にかかわらず、第1位は「資金調達のための低利な融資斡旋」であったが、J R 中野駅周辺地区内の事業者は25%、その他区内事業者は31%であり、その他区内事業者の方が6ポイントほど高かった。資金面では、他に「オフィス・店舗等の賃料助成」や「オフィス・店舗の開業・改装費助成」などがあるが、この点に関しては中野駅周辺区域内事業者からの回答率が高く、より直接的なニーズが結果となって現れている。

一方、「人材雇用に関する支援」では、その他区内事業者において比較的高い回答があり、立地による人材確保の温度差がでているように思われる。他に、中野駅周辺区域内事業者においては「産学連携のコーディネート」が、その他区内事業者と比べて比較的上位にあがっている。

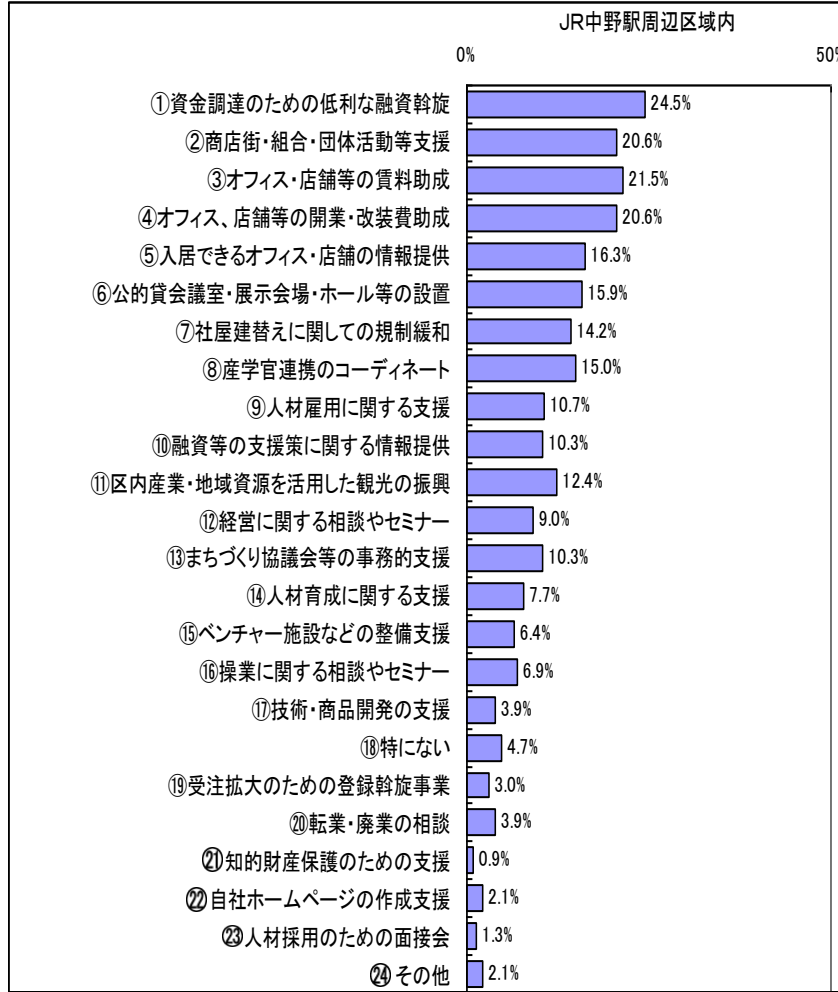
図表48

活性化のために有効な施策	JR中野駅 周辺区域内		その他 中野区内		合 計	
	件	%	件	%	件	%
①資金調達のための低利な融資斡旋	57	24.5%	82	30.8%	140	27.9%
②商店街・組合・団体活動等支援	48	20.6%	63	23.7%	111	22.2%
③オフィス・店舗等の賃料助成	50	21.5%	50	18.8%	100	20.0%
④オフィス、店舗等の開業・改装費助成	48	20.6%	40	15.0%	89	17.8%
⑤入居できるオフィス・店舗の情報提供	38	16.3%	46	17.3%	85	17.0%
⑥公的貸会議室・展示会場・ホール等の設置	37	15.9%	37	13.9%	74	14.8%
⑦社屋建替えに関する規制緩和	33	14.2%	35	13.2%	68	13.6%
⑧産学官連携のコーディネート	35	15.0%	31	11.7%	67	13.4%
⑨人材雇用に関する支援	25	10.7%	41	15.4%	66	13.2%
⑩融資等の支援策に関する情報提供	24	10.3%	36	13.5%	60	12.0%
⑪区内産業・地域資源を活用した観光の振興	29	12.4%	28	10.5%	57	11.4%
⑫経営に関する相談やセミナー	21	9.0%	25	9.4%	47	9.4%
⑬まちづくり協議会等の事務的支援	24	10.3%	16	6.0%	40	8.0%
⑭人材育成に関する支援	18	7.7%	21	7.9%	39	7.8%
⑮ベンチャー施設などの整備支援	15	6.4%	17	6.4%	32	6.4%
⑯操業に関する相談やセミナー	16	6.9%	12	4.5%	28	5.6%
⑰技術・商品開発の支援	9	3.9%	18	6.8%	27	5.4%
⑱特になし	11	4.7%	15	5.6%	26	5.2%
⑲受注拡大のための登録斡旋事業	7	3.0%	9	3.4%	16	3.2%
⑳転業・廃業の相談	9	3.9%	5	1.9%	14	2.8%
㉑知的財産保護のための支援	2	0.9%	10	3.8%	12	2.4%
㉒自社ホームページの作成支援	5	2.1%	6	2.3%	11	2.2%
㉓人材採用のための面接会	3	1.3%	5	1.9%	8	1.6%
㉔その他	5	2.1%	7	2.6%	12	2.4%
合計	569	244.2%	655	246.2%	1229	245.3%

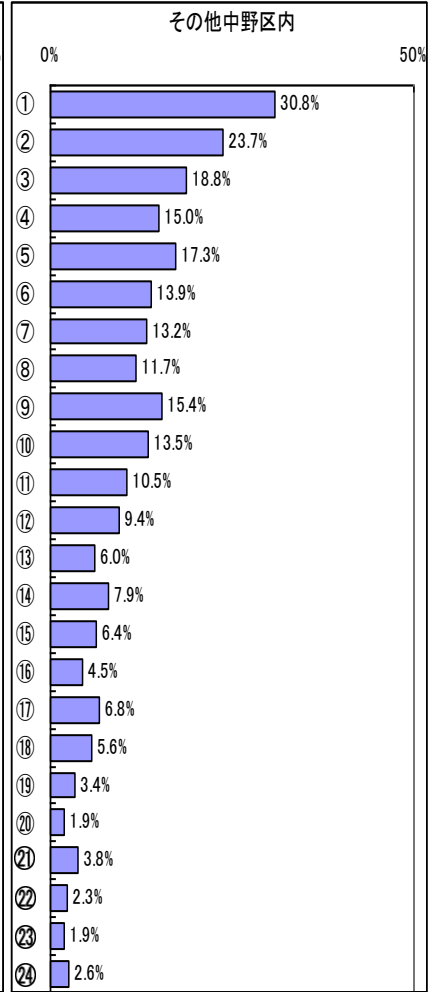
図表 49-1



図表 49-2



図表 49-3



11. 中野駅周辺まちづくりに関して、特に産業誘導策や地元産業の活性化策に対する基本的な考え方や要望等について(自由回答) (個別意見原文は『IV. 自由意見』p.52 ご参照)

- ・開発コンセプト・導入機能に関して

「中野の独自性を打ち出すべきである」との意見が多くあった。また、“若者の集まる町”に期待する声や、「チェーン店ばかりでなく独自性のある専門店の多いまちづくり」を希望する声も複数見られた。導入機能に大型商業施設をあげる意見のほか、商業施設よりも公園や駐車場などの整備を希望する意見もあった。他に、地元の産業が育つような行政施策を希望する意見も見られた。

- ・まちづくりに関して

「再開発における行政のリーダーシップに期待」する一方で、「地権者に加えて事業者や自治体、商店街、町会なども含んだ、まち全体での連携が必要」との声もあった。

- ・中野駅・駅ビルに関して

「中野駅の改札口整備による回遊性が確保される」「駅ビル誘致による波及効果に期待」する意見があった。駅の利便性の向上に加えて駅前広場整備を望む意見も見られた。

- ・インフラ整備に関して

道路等インフラの整備として「放置自転車の撤去、ゆっくり歩行できるまちづくり」など歩道や駐車場の整備を求める意見があった。

- ・区政への要望

「区役所が強力な指導力を発揮」「経営基盤の弱い小企業への公的支援」に期待する意見があった。

- ・にぎわいづくり

「より活力を生むような場づくり、ひと集めが重要」「杉並区（高円寺 - 阿波踊り、阿佐ヶ谷 - 七夕）のような」まちの活力を生むようなイベントの実施が必要との意見があった。

- ・その他

治安確保・震災対策の充実や、既存商店街の危機感を訴える声があった。

Ⅲ.調査票・添付資料（中野駅周辺まちづくりに関する動き）

中野駅周辺産業活性化に関する意識調査 調査票

東京商工会議所 中野支部

～ご記入にあたってのお願い～

- この調査票は別紙「意識調査へのご協力のお願い」に記した目的以外に使用することはありません。また、調査結果は全て統計的に処理し、個別の事業所名、内容が公開されることはありません。
- ご回答にあたっては、同封の『中野駅周辺のまちづくりに関する動き』をご覧のうえ、貴事業所責任者もしくは責任者に準じる方にご記入をお願いいたします。
- ご記入は黒の鉛筆あるいはボールペンでお願いします。
- ご回答いただきましたアンケート票（本紙）は平成19年9月10日（月）までに同封の返信用封筒にてご投函くださるようお願いいたします。（切手は不要です）

【調査内容等に関する問い合わせ先】

東京商工会議所 中野支部 担当：漆原・新井
〒165-0026 中野区新井 1-9-1 区立商工会館 2 階
電話：03-3389-1241 FAX：03-3319-0381
時間：平日 9:00～12:00 13:00～17:00

問1.貴事業所の業種は次のうちどれに該当しますか。

（売上のなかで最も多くを占める業種の番号に○をつけて下さい）

- | | | | | |
|---------------|----------------|--------------|----------|-----------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業 | 3. 情報通信業 | 4. 運輸業 | 5. 卸売業 |
| 6. 小売業 | 7. 金融・保険業 | 8. 不動産賃貸業 | 9. 一般飲食業 | 10. 遊興飲食業 |
| 11. 宿泊業 | 12. 医療・介護福祉関係業 | 13. 教育・学習支援業 | | |
| 14. 個人向けサービス業 | 15. 事業所向けサービス業 | | | |
| 16. その他（ | | | | ） |

問2.貴事業所の中野区内における事業開始年次は次のうちどれに該当しますか。

（当てはまる番号に○をつけて下さい）

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 1950 年 以前
（昭和 25 年以前） | 2. 1951 年～1970 年
（昭和 26 年～昭和 45 年） | 3. 1971 年～1989 年
（昭和 46 年～平成元年） |
| 4. 1990 年～1999 年
（平成 2 年～平成 11 年） | 5. 2000 年 以降
（平成 12 年以降） | |

問3.貴事業所の所在地について、当てはまる番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|--------------------------------------|------------|
| 1. J R 中野駅周辺地区内（太い点線の枠内 ※別図をご参照ください） | 2. その他中野区内 |
|--------------------------------------|------------|

問4.貴事業所の最近1年間の業況はいかがですか。

（当てはまる番号に、1つだけ○をつけてください）

- | | | | | |
|-------|---------|--------|----------|--------|
| 1. 良い | 2. やや良い | 3. 横ばい | 4. やや厳しい | 5. 厳しい |
|-------|---------|--------|----------|--------|

問5.貴事業所の今後の事業展開についてどのようにお考えですか。

（当てはまる番号に、1つだけ○をつけてください）

- | | | | |
|----------------|-------------|---------|----------|
| 1. 拡大していく | 2. 転業を考えている | 3. 現状維持 | 4. わからない |
| 5. 縮小・廃業を考えている | 6. その他（ | | ） |

問 6.問 5 で、1.拡大していく.2.転業を考えている とお答えの方に伺います。

その事業所の場所についてどこを有望とお考えですか。

(当てはまる番号に、1つだけ○をつけてください)

1. 中野駅周辺地区 2. その他中野区内 3. 東京都内 (区・市)
4. その他 ()

問 7.中野駅周辺地区は、駅北西の警察大学校跡地利用、駅南口の丸井本店閉鎖、

J R 中野駅 駅舎の建替えが検討される等、大きな転換期を迎えています。

それについてどうお考えですか。(当てはまる番号 1つだけ○をつけて下さい)

1. 中野区の活性化に役立つ 2. 中野区のイメージアップにつながる
3. 中野区の性格が変わる 4. 今までの中野区の良さが減少する。
5. いままでとさほど変わらない 6. もっと地元の意見を聞いて欲しい
7. その他 ()

問 8.問 7 でご回答されたことについて、そのお考えや理由をお聞かせ下さい。

問 9.将来の中野駅周辺地区について、あなたの描く地区イメージは一言でいうと、

どのようなものですか。(当てはまる番号 3つ以内で○をつけて下さい)

(以下、～都市は、機能集積のイメージとして軽くとらえて下さい)

1. 商業都市 2. I T 集積都市 3. 演劇・芸術・文化都市 4. 生活文化都市
5. 環境都市 6. 都市型産業都市 7. エンターテインメント都市 8. 住宅都市
9. 学園都市 10. 都市型観光都市 11. 医療・介護・福祉都市 12. 防災拠点都市
13. 歓楽都市 14. 交通拠点都市 15. コンベンション都市 16. 創造都市
17. 公園・庭園・景観都市 18. 商業・業務・住宅等複合都市
19. その他 (以下イメージを簡潔に書いて下さい。→)

問 10.将来の中野駅周辺地区について、あなたの描く地区イメージに近いところは

どこですか。(当てはまる番号に、1つだけ○をつけてください)

1. 新宿 2. 銀座 3. 渋谷 4. 池袋 5. 六本木 6. 新橋
7. 汐留 8. 品川 9. お台場 10. 吉祥寺 11. 立川 12. 三鷹
13. 恵比寿 14. 中目黒 15. 秋葉原 16. 錦糸町 17. 浅草 18. 豊洲
19. 荻窪・阿佐ヶ谷・高円寺 20.その他 ()

問 11.中野駅周辺が近い将来より活性化された場合、あなたの事業所はここでの

ビジネスを検討されますか。(当てはまる番号に、1つだけ○をつけてください)

1. 検討する 2. わからない 3. 検討しない 4. その他 ()

問 12.問 11 でご回答されたことについて、そのお考えや理由をお聞かせ下さい。

問 13.中野駅周辺地区の事業所立地上の魅力について、該当すると思うところに
○をつけて下さい。

		大 き い	や や 大 き い	な ん と も 言 え な い	や や 少 な い	少 な い
1	中野区の中心的場所である	5	4	3	2	1
2	新宿に近い	5	4	3	2	1
3	交通が便利である	5	4	3	2	1
4	駅乗降客が多い	5	4	3	2	1
5	後背地人口が多い	5	4	3	2	1
6	商業・飲食・娯楽施設が多い	5	4	3	2	1
7	生活に便利	5	4	3	2	1
8	小規模でも創業しやすい	5	4	3	2	1
9	優秀な人材が確保しやすい	5	4	3	2	1
10	従業員が通勤しやすい	5	4	3	2	1
11	業務・取引等関係するところが多い	5	4	3	2	1
12	取引先・顧客のアクセスがよい	5	4	3	2	1
13	地域のブランド・イメージが高い	5	4	3	2	1
14	駐車場が確保できる	5	4	3	2	1
15	道路が広い	5	4	3	2	1
16	経営・研究開発に有利な情報が得られる	5	4	3	2	1
17	営業の拠点として便利	5	4	3	2	1
18	今後の発展が楽しみ	5	4	3	2	1
19	区役所、商工会議所等の公的施設がある	5	4	3	2	1
20	その他（ ）	5	4	3	2	1

問 14.中野駅周辺地域の賑わいをつくりだすために有効だと思われる産業振興支援策に
ついて、教えてください。(該当する番号に3つ以内で○をつけて下さい)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 地元住民用の店舗等の情報マップ | 2. 来街者用の情報提供デスク |
| 3. 来街者用の地区や通り、店舗等の情報マップ | 4. 現在のお祭りやイベントの拡充 |
| 5. 文化・芸術・イベント活動についての情報提供 | 6. 新たなイベントの実施 |
| 7. 無料巡回バス等交通アクセスの整備 | 8. 標識や案内板の整備 |
| 9. 歩行者専用道路、自転車専用ゾーンの整備 | 10. 駅舎の整備 |
| 11. オフィス・店舗等の開業・改装費助成 | 12. 駅前広場の整備 |
| 13. 娯楽・アミューズメント施設の誘致 | 14. 大型商業施設の誘致 |
| 15. スポーツクラブ・温浴施設等の健康施設の誘致 | 16. 植樹など緑化の推進 |
| 17. コンベンションホール等の会議施設の誘致 | 18. 特にない |
| 19. その他（ ） | |

問 15.中野駅周辺地域の活性化のために有効だと思われる施策を教えてください。

(該当する番号に 3 つ以内で○をつけて下さい)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 経営に関する相談やセミナー | 2. 創業に関する相談やセミナー |
| 3. 融資等の支援策に関する情報提供 | 4. 入居できるオフィス・店舗の情報提供 |
| 5. 人材雇用に関する支援 | 6. 人材育成に関する支援 |
| 7. 人材採用のための面接会 | 8. 資金調達のための低利な融資斡旋 |
| 9. オフィス・店舗等の賃料助成 | 10. オフィス、店舗等の開業・改装費助成 |
| 11. 社屋建替えに関しての規制緩和 | 12. 受注拡大のための登録斡旋事業 |
| 13. 自社ホームページの作成支援 | 14. 産学官連携のコーディネート |
| 15. 知的財産保護のための支援 | 16. 技術・商品開発の支援 |
| 17. 転業・廃業の相談 | 18. 区内産業・地域資源を活用した観光の振興 |
| 19. 公的貸会議室・展示会場・ホール等の設置 | |
| 20. 商店街・組合・団体活動等支援 | 21. ベンチャー施設等の整備支援 |
| 22. まちづくり協議会等の事務的支援 | 23. 特にない |
| 24. その他 () | |

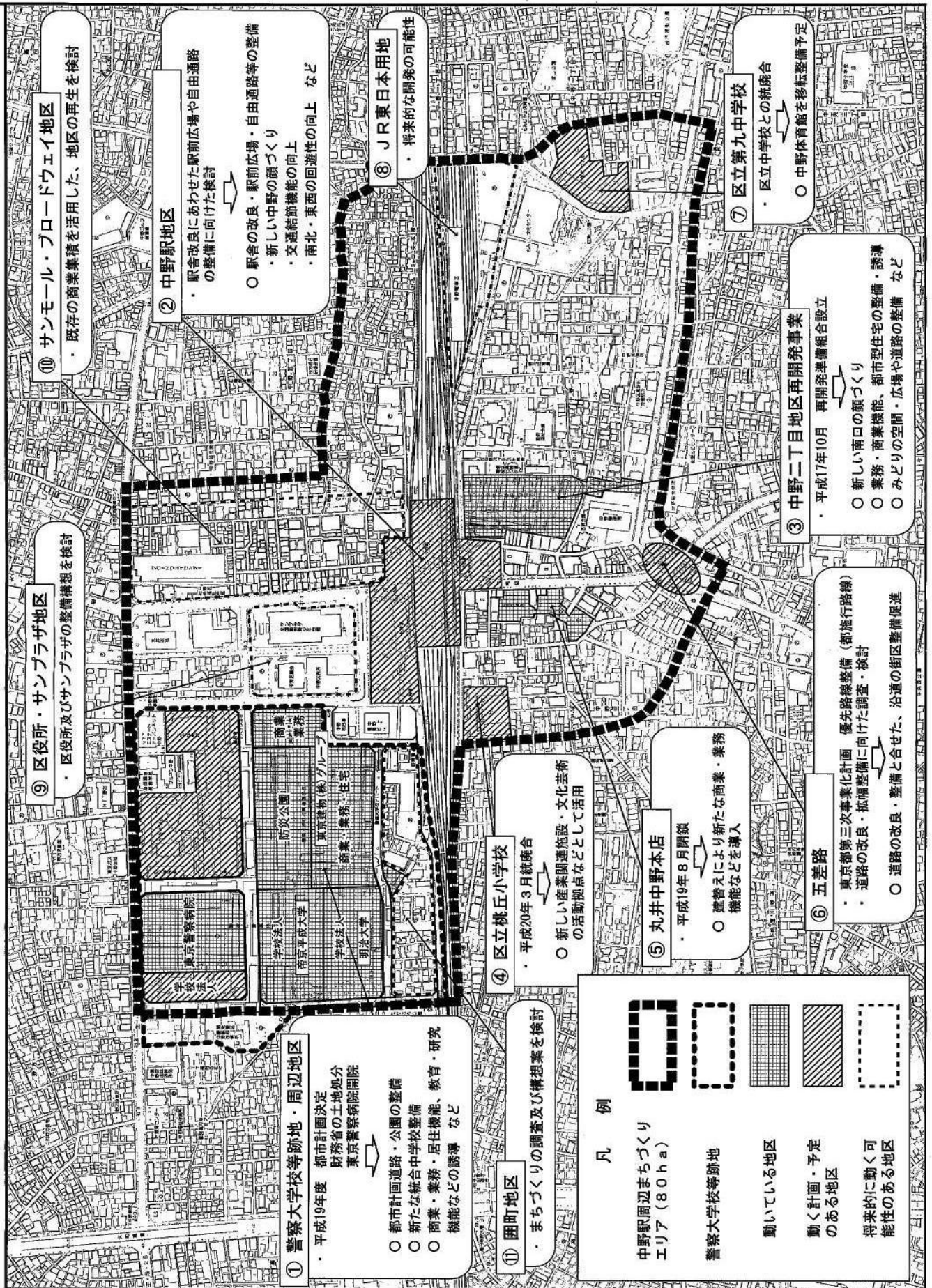
問 16.中野駅周辺まちづくりに関して、特に産業誘導策や地元産業の活性化策に対する基本的な考え方や要望等について自由にお書き下さい。

問 17.貴事業所・ご記入者について教えてください。また該当する番号に○をつけて下さい。

貴事業所名 (屋号)		電 話	
		F A X	
経営形態	1. 個人事業所 2. 合名・合資会社 3. 有限会社 4. 株式会社 5. その他 ()	資本金 (個人事業者以外)	1. 300 万円未満 2. 300 万円～500 万円未満 3. 500 万円～1000 万円未満 4. 1000 万円～5000 万円未満 5. 5000 万円～1 億円未満 6. 1 億円以上
事業所数		主要商品・サービス内容	
従業員数 (含むパート)	人	(役職名) 記入者名	()
所在地	1. 新井 6. 鷺宮 11. 野方 16. 南台	2. 江古田 7. 白鷺 12. 東中野 17. 大和町	3. 江原町 8. 中央 13. 本町 18. 弥生町 4. 上鷺宮 9. 中野 14. 松が丘 19. 若宮 5. 上高田 10. 沼袋 15. 丸山

お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

中野駅周辺まちづくりに関する動き



IV. 自由意見

1. 中野駅周辺地区の再開発についての意向

① 中野区の活性化に役立つと答えた事業所の意見

・イメージやコンセプトを理由とする意見

イメージが不足している、コンセプトが重要

差別化・独自性の確保が必要

イメージが刷新できるから

「明るい」「すっきりしている」「文化程度が高い」まちになる

「ふるい」「マニアックな」「混沌とした」イメージを払拭できる

- ・ショッピングセンター、スーパー、店舗などを増やし、他区より人を集めて活性化を行う。中野区はイメージが道路は狭く、駅周辺はゴミゴミしている。もっと明るいスッキリした街に生まれ変わるようにしていく方が良い。
- ・中野区のシンボルの桃園をイメージした全国にない駅舎を考えて欲しい。全国を旅して中野のイメージを持つて人は殆どいない。自然と人に優しい美しい中野に(文化と伝統を重く見る)要するに独自性を持つこと。
- ・中野駅周辺のトータルイメージとビジョンを持って他の地域と差別化の出来るハイグレードなタウンとする
- ・大きな施設がきて、人が集まるのはいいことだが、一つのコンセプトを決めて(人に優しい、安らぎ空間)長期的に考えて進めていく必要あり
- ・若者の魅力ある街にし、集客力をつけて欲しい
- ・古いまま時代においていかれたサービス機能、構造を引きずっていくより、新規一掃、新しいコンセプトで構築していくほうがいいと思う
- ・今までの駅周辺の混沌としたイメージを払拭できそうだから
- ・広い谷間の中での将来の環境商業都市造りをめざし、他地域の模範都市となって欲しい
- ・新宿には無い個性的な町づくりを進めれば中野区の活性化になる
- ・古い街というイメージを払拭し、専門的な分野と時代の最先端を求めるニーズに応えられると期待している
- ・現在は時代に取り残された街のようであり、特にブロードウェイはオタクの集まる場所となってしまう、新しい街づくりが必要
- ・大学及び病院による文教地区としてのイメージアップ
- ・マニアックで庶民的なイメージからの脱却が出来るから
- ・メリハリのある町づくりが可能となり、中野がターミナル及び中核タウンとして活性化されると期待される
- ・明るい、文化程度が高い町並みに発展することを望む
- ・アクセス良い環境でありJR 駅前の空間を生かしてクリーンなイメージになればと思います
- ・新宿の大都市に吸収されて、中野の場合は今まで発展がなかったので、この転換期に活性化を期待
- ・今まで中野といえばサンブラザだったが、シンボルとして思い浮かべるだけでした。中野駅周辺の開発により、産業、文化の発展へと結びつくと考えられる
- ・従来 of 停滞状態の刺激になるのでは
- ・中野は穏やかな町ですが、その特徴がないので、新しい誘致は活性化に繋がると思われる
- ・南口、北口智に商店街が低迷している現状が大きく変わる可能性がある
- ・既存の建築物が多いので建替えられることで新しい街並みが出来ると思うから
- ・今まであまりにも変わらなさ過ぎた。他の場所に遅れをとっているの、やっとなにかという思いです。良くなしてほしい。
- ・但し、六本木や麻布と同じような街だけは反対、庶民的な街づくりを目指せ。(庶民的とは車社会なので車が必要、一対老人に対しても子が親を連れてはいいが、P が無い、やさしくない)

・駅舎・駅前広場の整備につながるという意見

回遊性が重要

とにかく整備してほしい

具体的に改札口について言及しているもの

駅の機能性の充実を希望

駅はまちの顔でもあるイメージづくりの点でも重要

- ・警大跡地の利用により北西側へ多くの人の流入が見込めるし、又駅舎の近代化などで、より集客が増やせると思えるから。
- ・中野駅も駅ビルにして出入り口は6箇所にする、東、西、南、北と多くする。思い切った計画にする。文化、芸術、娯楽など施設が欲しい。
- ・中野区のシンボルの桃園をイメージした全国にない駅舎を考えて欲しい。全国を旅して中野のイメージを持つて人は殆どいない。自然と人に優しい美しい中野に（文化と伝統を重く見る）要するに独自性を持つこと。
- ・中野駅周辺でこれだけの土地が再開発されようとしています。駅舎を建替え、ショッピングモールなどを誘致し、南北の回遊が出来るようにすべきである。駅周辺の用途地域の変更も是非必要である。
- ・人口増による税収増の期待がある。また、病院、大学等の進出による昼間人口の増加があり、必然的に駅舎等の公共施設の整備も行われるものと期待する。
- ・中野駅が機能的に変わると駅周辺を含めて活性化できると確信しています
- ・特に活性化のために要望する点は、駅舎を含め駅前を整備して、増える乗降客のための利便性と安全性対策です。
- ・警察病院、大学等の中の駅利用者数が増えることを考えると、現況の中野駅では対応できず、又今以上に活性化すると考えます。
- ・中野駅及び駅前広場の計画を早く決定して欲しい。区とJRの話し合いを急ぐべき、その結果（入り口等々）によって2丁目の再開発の計画が具体化してくるのではないかな
- ・中野駅舎建替え及び北口、南口ロータリーの改善が必要であると思われる。
- ・特に駅では障害者用エレベータの設置などあれば、福祉の区として前進
- ・中野駅駅舎の建て替えて、南北、東西の回遊性向上の目的で改札口を現在の2箇所から4箇所に増設するなどとしてアクセスの拠点を改善して欲しい。これにより、通勤通学時間帯の人の流れを分散化し地域全体の活性化への拡大が期待できる。
- ・駅（新宿より一駅）も小さく、人口密度は日本一と聞いているのに、こんなに小さい駅があるのかと昔より思っていたので、いよいよかという感じ、遅すぎると思う
- ・中野区の中心である中野駅周辺の再開発は、中野区の活性化、イメージ・アップにつながる、南北回遊を含め、駅舎との連携した開発が必要

・開発による流入人口が活性化につながるという意見

昼間人口の増加

大学や病院、商業など導入機能による人口増

流出人口に歯止めがかかる

- ・警大跡地の利用により北西側へ多くの人の流入が見込めるし、又駅舎の近代化などで、より集客が増やせると思えるから。
- ・大学が2校移転してくることにより、学生が増え街の活性化になると思います。
- ・商業地域、住宅地域の性質以外にオフィスエリア、学校エリアとしての性格を加えるなど、新たなマーケットが出来るのではないかな
- ・新たな商業施設が出来ることで、集客能力が高まり、地域の活性化をもたらすため
- ・六本木、銀座、恵比寿等大きな企業の跡地の開発が盛んに行われイメージアップに繋がっている。駅周辺がきれいになり、区民が他の地域に流れる必要がなくなれば、中野区で商業を営んでいる企業も業績が上向く。
- ・中央線の中で人の流れが新宿、吉祥寺に行っていたものが戻ってくるのでは
- ・昼間の勤労者や住民が増える。人口。
- ・立地は良いのであとは整備が適切であれば吸引力のある良い町になると思うので。
- ・昼の人口が多くなることは商売に良い
- ・人口増による税収増の期待がある。また、病院、大学等の進出による昼間人口の増加があり、必然的に駅舎等の公共施設の整備も行われるものと期待する。
- ・病院関係者、学校法人関係者の流入による人口増によるインセンティブ

・導入される機能によって活性化されるという意見

大型商業施設

文化・芸術・娯楽施設

近代化されること

病院開業を歓迎・評価

病院・学校誘致を歓迎・評価

- ・ショッピングセンター、スーパー、店舗などを増やし、他区より人を集めて活性化を行う。中野区はイメージが道路は狭く、駅周辺はゴミゴミしている。もっと明るいスッキリした街に生まれ変わるようにしていく方が良い。
- ・中野駅周辺でこれだけの土地が再開発されようとしています。駅舎を建替え、ショッピングモールなどを誘致し、南北の回遊が出来るようにすべきである。駅周辺の用途地域の変更も是非必要である。
- ・警察病院が出来るとの事ですが、大変良い事だと思います
- ・駅周辺は個人商店が多く、人の往来数に比べて整備が進んでいなくて買物もしづらいので整備して欲しい
- ・旧施設の近代化は、中野区住民の利便性又他地区の人々の中野区への利用度が強くなると思う
- ・広大な警大跡地を区民はもとより近隣都民の利用しやすい商業施設、大学等を誘致し有効利用することは、中野区の活性化に大きな変化を与え、役に立つと思います。従来の個人商店より大型店舗のほうが人は集まりやすいと思います。
- ・中野駅も駅ビルにして出入り口は6箇所にする、東、西、南、北と多くする。思い切った計画にする。文化、芸術、娯楽など施設が欲しい。
- ・もっと大きなビル、デパートなど、中野北口前の

・交通インフラの整備が活性化につながるという意見

駐車場の確保・充実

道路整備による回遊性の向上

バスタクシーの動線整備

道路・歩道整備にあわせて緑化の促進

- ・中野駅周辺でこれだけの土地が再開発されようとしています。駅舎を建替え、ショッピングモールなどを誘致し、南北の回遊が出来るようにすべきである。駅周辺の用途地域の変更も是非必要である。
- ・中野区にとって最後の再開発のチャンスだと思うので、思い切った事業をやって欲しい。特に、IT 関連企業の誘致や、製造業の本社業務の誘致により、税収を考えるべき、その為には道路拡幅、駅周辺の駐車場の増加を
- ・中野駅も駅ビルにして出入り口は6箇所にする、東、西、南、北と多くする。思い切った計画にする。文化、芸術、娯楽など施設が欲しい。
- ・但し、六本木や麻布と同じような街だけは反対、庶民的な街づくりを目指せ。(庶民的とは車社会なので車が必要、一対老人に対しても子が親を連れてはいいが、Pが無い、やさしくない)
- ・道路を整備し歩道を綺麗にする。植樹をやり直すことにより、町の景観が変わります。歩道の前に住んでいる人達も建替えたり意識が変わります。中野通り、早稲田通り、青梅、新青梅通り、方南通り等、道路を綺麗に舗装し、緑を植え替えることにより区民の意識が変わります。
- ・警察学校と中野住宅により、駅前が遮断され、偏った町づくりになっていた。個の開発がうまく進めば奥行きのある町づくりになる。
- ・住民の増加や学校、病院の設置で中野駅周辺への集中、集積が進む。交通(特に駐車場)の整備を怠ると大変なことになる。交通縦のラインの整備の充実が必要(環七の下に地下鉄を通す)

・その他

企業誘致、緑化、区への要望 他

- ・中野区にとって最後の再開発のチャンスだと思うので、思い切った事業をやって欲しい。特に、IT 関連企業の誘致や、製造業の本社業務の誘致により、税収を考えるべき、その為には道路拡幅、駅周辺の駐車場の増加を
- ・道路を整備し歩道を綺麗にする。植樹をやり直すことにより、町の景観が変わります。歩道の前に住んでいる人達も建替えたり意識が変わります。中野通り、早稲田通り、青梅、新青梅通り、方南通り等、道路を綺麗に舗装し、緑を植え替えることにより区民の意識が変わります。
- ・中野駅北口周辺は活性化されているように見えるが、一步はなれると静か過ぎます。

- ・今までのサンプラザのように、たとえ全国的知名度があっても、地元には何等貢献していない。地元のためになるような活性化を求めます。
- ・中野は、都市部(23区)と郊外部(多摩地域)の結節点にあたり、中野駅周辺施設の計画により、東京都全域に及ぼす影響に作用する意義あり。
- ・交通の利便性、職住の近接が業務の合理性に大きく影響します。その両方を満たすのが中野であると考えます。
- ・中野駅周辺開発事業を、中野区内の企業が自ら参加し、開発事業の仕事を行う機会が与えられることにより、中野区内の企業、産業はそのつながりから必ず活性化すると信じる
- ・中野駅周辺地区は、同規模の他駅周辺(錦糸町等)より再開発が遅れているというより全く手がついていない。再開発により活性化の余地が十分にある。
- ・住居、商業、産業、教育等がバランス良く有る中野のまちづくりに中野区役所が積極的に取り組んでもらいたい。中野サンプラザは中野区役所が主導権を持つこと

②区のイメージアップにつながると答えた事業所の意見

・すっきりと整然としたまちなみができてよい

- ・今迄せこましい、特に中野通りの車及び歩道狭過ぎるし混雑している
- ・長く使用されていなかった土地が有効活用され、あまりきれいとはいえなかった駅周辺が整備され、明るいイメージが形成されるのではないかなと思うから
- ・新しい設備(建物)によりイメージアップする
- ・中央線沿線で中野は停滞していた。これを機会にモダンな街に変化して貰いたい
- ・駅周辺がなんとなく雑然としている。広い警察大跡地が薄暗く、暗いイメージだった。
- ・雑然と下町との印象を、新しく整然とした又文化的な中野区としてアピールできると思う
- ・福祉を中心とした区と言うイメージが強いので、文化を中心とした区になって欲しい
- ・駅前からパチンコ店、老朽化した公営住宅、歩道にいすや看板を傍若無人にはみ出している行儀の悪い飲食店など排除又は規制して欲しい
- ・現在は小規模店舗、狭い道、学校、昔からの住宅が混在し、コンセプトのない街並みとなっている。整然とした中にも調和の取れた街にすることによりイメージが変わると思う。
- ・整備されたスッキリしたイメージに期待、更に機能的に優れた利便性の高い空間を望む
- ・周辺のゴチャゴチャ感が無くなると思うので
- ・住宅街のなかにある駅中心の商店街が発展した町のイメージですが、このイメージを文化のレベルアップにつなげるまちにしたい
- ・JR 中野駅および周辺は古くて垢抜けない感じがする。かと言ってレトロな雰囲気でもなく、中途半端。サンプラザなど劇場もあり、それなりの個性もあるようだが、今一つ魅力が欠ける。もう少しおしゃれで魅力的な街になると集客力も高まり活気が出ると思う。
- ・二度とこのようなスペースを得ることが出来ないの将来を見据えて1. ゴミ焼き場を造る、2. その熱を使った温水プールを造る、3. 公営のスポーツ・トレーニング施設、4. 公園を造る
- ・古い中野のイメージが消えて、良い中野になると思います。
- ・中野は特快が停まる大きな駅のはずが降りてみると古い駅。周りにもデパートも証券会社も数えるほどしかない寂れた町。

・病院・学校ができるため

- ・最新技術の病院が出来るので
- ・病院や大学などはイメージアップになると思うが、企業の参入は内容により大きく変わるので慎重に意見を聞く。
- ・最先端医療機器を導入するであろう警察病院、大学の進出など更に丸井本店の建替え後の計画にもよるが、若者の街として活性化が期待できる。また、駅舎の改良にあたっては、上部はホテルとし物販系は入れない方がよい。南北の商業が衰退してしまう。
- ・大学が出来るから。しかし、丸井本店の閉鎖は極めて残念。

・文化的なイメージがアップする

- ・駅周辺利便性を重視し中野区のイメージアップにつながると思います
- ・中野区の顔の部分が良くなることでイメージアップにつながると思います
- ・地域ブランドのイメージを高める

・再開発による需要増

- ・病院や大学等転入により、人の流れが変わり、地域の商業が活性化する
- ・大規模開発の功罪はともかく、地域経済の活性化に繋がる。
- ・再開発により色々な業種に需要が生まれる

・他の地域にはない中野の明確なシンボルやイメージ、コンセプトの確立が必要

- ・中野のイメージが希薄である今、新しい中野のイメージのシンボリックなものをコンセプトにし、明確な中野のイメージを打ち出す必要がある。
- ・中野区といえばサンプラザと頭に浮かぶ。確かに丸井発祥地であるが、丸井にも翳りが見えイメージアップに繋がらない。跡地・閉鎖地を利用して大規模施設計画を望み、東京中野にサンプラザと何々があるといったイメージアップに繋がることに傾注して欲しい
- ・新しいもの、古き良い懐かしいものがイメージできる、他の地域にないハイセンスなバランスのとれた町づくり

・駅が整備されるから

- ・駅のスケールやスタイルはある面その街の顔となるから
- ・駅舎周辺等の早期整備（中央線沿線で最悪と思います）

・新旧融合のためにイベントが必要

- ・人口は多いが地元の人と一時的に居住している人との融合がない。核となる施設やイベント(祭り)等があるとまとまるのではないかな

・その他

- ・(売春はやめて欲しい)外人さんの。

③中野区の性格が変わると答えた事業所の意見

・来街者が増える

商業施設誘致を希望

駅の改良を希望（東西南北の回遊性確保）

若者向きのまちになるが独自性のない平凡なまちになるのではないかな

新、旧交わらないのではないかな

- ・中野駅で降車してわざわざ飲食購入したい場所があるようには思えない。周辺地区が変革することにより目的を持ち中野に行きたいと思える人達が集まってくる
- ・企業が中野区に入ってくることは良いが、一体化しないので、中野に来る人達も色々な目的で来るので性格が変わると思う
- ・商業施設を誘致して人の流れを南北だけから東西にも広げる。西口をつくり駅ビルなどを作る
- ・丸井の閉鎖は寂しいが駅が整備され、大学が進出してくることで、若者のニーズにあった街に変わっていくと思われるので、新宿、吉祥寺の大商圈に挟まれて中野にとって逆に特徴がなくなり、便利になっても平凡な町に変わる可能性がある。

・再開発によってイメージが変わる

- ・中野駅周辺の殆どの建物の概観が、今までは汚く見えていて、一部臭いエリアもあったので(トンネル内)
- ・新宿の淀橋浄水場の例もあり、再開発によって大きくイメージが変わると思います。

- ・再開発によって住宅・商業の複合都市に変わる

防災・業務機能のまちになる

高齢者への対応、福祉機能の充実を希望

- ・丸井ビル跡地、警大跡地等大きな空間が変わることによって中野のムードは変わると想像します。病院が建設されることにより、高齢化にターゲット(江古田を含む)の中野になるかと思われます。高齢者、福祉サービスの施設に力を入れて欲しいと思います。
- ・中野駅前を中心に一方には全天候型の住居、商業兼用のビル、少し離れて市民自治型の多目的ビル、この延長上に中野区のイメージがある
- ・住宅都市から複合都市へ
- ・防災、ビジネス街への転換

- ・既存地域への影響を危惧

- ・警察大学跡地には、既に病院が建てられ、次々に大学の建設となると、中野駅から、病院、大学への新しい道路が出来るのでは？商店街の通り抜けが必要なくなって、サンモール商店街やブロードウェイが活況がなくなるのではないかと不安。
- ・中野駅北側と南側の格差が拡大する。駅南側の所業、住環境の整備、拡充が重要。

④今までと、さほど変わらないと答えた事業所の意見

- ・特徴がないままであり、独自性がでてくるわけではない

再開発計画の認知度が低いから

- ・他に地域にはない注目に値する計画はなく、発展もなければ衰退もないものと思われる
- ・新宿が近く特徴が出しにくい
- ・中野の性格がはっきりしないところへ、跡地利用や駅周辺の再開発計画も住民に認知されていないのでは

- ・影響は局地的なものだから

- ・駅周辺の集客であり、その他にはあまり関係ないように感じる
- ・病院や大学があつて当たり前である。大規模商業件は安定が不確実である。小さいアパート、マンションが多いので、低所得者層、若年層がいつも多い。

- ・住みやすさが優先されるので現状と変わらない程度の活性化が望ましい

- ・駅から2KM くらいに住んでいる人は昭和初期10年ころより居住の方が多くので地味な活性化が望ましい
- ・基本的に買物は近隣(新宿、渋谷で)の大型店を利用できるため、中野は住みやすさを目指して欲しい

- ・その他

- ・住民の減少、児童生徒の減少。高齢者の増加。

⑤もっと地元の意見を聞いて欲しいと答えた事業所の意見

- ・商店街の意見を聞いてほしい

- ・既存周辺商店街を荒廃させる開発計画を避けるため、隣接する商店街と行政はもっと意見交換を行うべき
- ・サンモール街が取り残されるのではという危機感があります。
- ・行政は、中野駅周辺の商店街の意見を聞く機会を作り、それを反映すべき。現状、現図面では住民の警大跡の開発の反対運動も起きるだろう
- ・現時点で貢献しているブロードウェイ、サンモール商店街の店主の意見を反映させて欲しい

- ・再開発計画の手続きなど情報開示と意見の吸い上げを希望

- ・説明会などが報告のみの場になってしまって、話し合いや検討する意見交換の場になっていなかった。残念だ。
- ・区内には商業、産業都市の向上を考える経験者、研究所があると思う、その人々の人生経験、理想を聞けば良案が掴める。
- ・内容が伝わってこない(あいまい)、噂が先行している中、今回のようなアンケートを沢山行うべきだと思う

- ・緑化の充実を望む

- ・団町公園の廃止等理解できない
- ・どこにでもあるような無駄な箱はいらないから、武蔵野ならではの緑を残して欲しい。

- ・個人商店を守ってほしい（ナショナルチェーンばかりの特徴のない店はよくない）

- ・大規模化されて個人経営や地元の企業が苦しくなる大型化は困ると思います
- ・チェーン店化が進んで、店にいるのはパートばかりというつまらぬ町にはしたくない。オーナーが店にいて、人間的な対応をする個人商店の育成を支援に大いに力を入れて欲しい。住民の生活環境も心地よい町にして欲しい。

- ・来街者と従来からの住民の融合策が必要

- ・警大跡地・周辺地区の利用者は外来者が殆どです、区内近隣に生活する物のはみ出してしまう立場になります
- ・大学等の誘致や駅舎の建て替えなど、若者が多くなる中で町の活性化に繋がると思うが、地元住民と融和できるように配慮することが必要

- ・文化イメージ高いまちにしてほしい

- ・文化度の高い町、緑の多い町づくりを
- ・周辺都市の近代化に反対するものではないが、従来の中野区の文化を矯正したい。独特の地域文化と併合するようなイメージを作り上げて欲しい。

- ・住みやすさ優先した開発をしてほしい

- ・人が快適に住める中野区の一部としての駅周辺の開発を基本理念としたい

- ・駅舎の整備をしてほしい

- ・跡地計画がすばらしい街になって、それにふさわしい駅舎が計画される様望む

⑥中野区の良さが減少すると答えた事業所の意見

- ・丸井の閉店はダメージ

- ・大規模な施設建設は、新宿などの街に任せば良い。南口については丸井の閉鎖は生活するうえで大打撃になると思われる(南口住民の)
- ・丸井本店の閉鎖はイメージダウン
- ・丸井のイメージが高かった

- ・住宅地としてのよさが失われる

- ・住宅街としての評価を大切にしたい
- ・便利になるかもしれないが、住みやすさが軽減するような気がします。

- ・特徴のないまちになる

- ・新しい建物が建ったところで他の町と同じような町並みになるのがオチだから
- ・都心に近い立地にありながら、落ち着いた感じがあったのが、都心と変わらない町に近づくと思うから。

- ・南北の格差が拡大する

- ・駅の北地区と南地区のバランスが崩れ、北地区の繁栄が増大。地区年数の古いビル、家屋の立替が広範に進む。

⑦その他と答えた事業所の意見

・ 情報不足

- ・ 周辺地区の利用や建替えの情報が不足
- ・ 今まで様々の計画が噂されては、地元の意向でつぶされてきた。その結果発展できなかった。実に悔しい。今から街が変化しても、自分の生きているうちに見ることが出来ないと思う(高齢ゆえに)今回の計画には住民を増加するという考えが見当たらない。これでは発展しない。
- ・ 都市計画の専門家による検討会を開いて、それらの意見を知らせるなど啓蒙して欲しい。早急に

・ 丸井の閉店が残念

- ・ 丸井の閉店で核となる大規模商業施設、スーパー、飲食含む、大型電気店などがなくなり、人の流れがますますなくなると思われる

・ 地元の意見を聞いてほしい

- ・ 駅周辺の大きな変化が、中野区全体の性格やイメージを大きく変えるとは思われない。むしろ現在地(今回の活性化対象地区内)で、営業を続けざるを得ない立場から、地元の意見を良く聞いて欲しい。

・ 環境に配慮してほしい

- ・ 再開発により経済の活性化に役立つと思われるが、一方で「コンクリートジャングル」といわれるように緑地の少ない空間が出来ることが恐れます。環境破壊に結びつく再開発とならないように祈ります。

・ サンプラザの機能（生活文化・国際交流）を残してほしい

- ・ 商業のみでなく、サンプラザが果たしてきた、生活文化、国際交流の場を残して欲しい

・ 既存事業者も住民と一緒にするなどの努力が必要

- ・ 個人商店への IT 改革的意識の強化、イベントでの活性化、中野に住んでいる人々が一丸となり努力が必要だと思う

・ 中野に将来性はない

- ・ 中野ブロードウェイが、いまや軽侮嘲笑的になっている通り。どんどん地域として下落すると思う。

2.活性化後の中野駅周辺地区におけるビジネス展開の可能性

①中野駅周辺地区におけるビジネスを検討する理由

- ・ビジネスチャンス、活性化されるから

集客力に期待

具体的にインフラが整備されることを前提としている

- ・街の活性化はビジネスチャンスの増大になるから
- ・中野区は全国的に見ても事業所が少ないので、商業、業務の活性化に期待
- ・複合店へのビジネスアプローチ(カラオケ、衛星放送等)
- ・中野開発の波に乗りたい
- ・証券業という業種柄、活性化された地域がより望ましい。
- ・個の地区が活性化し、元気になり、活発になる。
- ・ビジネスチャンスを求めることは当然のこと
- ・商圏が近いところにできればいいと思います
- ・活性化されることにより、又開発事業に参加できることにより、ビジネスチャンスが生まれるものと信じる
- ・営業業務の拡大
- ・より活性化した状況でさらに事業を活発化したい
- ・新しいマーケットの開拓が出来そうだから
- ・建物の増加が業務拡大のチャンスである
- ・競合店がまだ少ない
- ・人の集まるどころ商いのチャンスあり
- ・人の流れが変わる、人が集まる
- ・来場数が増えれば小売業も活性化する予定
- ・活性化の波に乗れるようであれば、少しでも来客を伸ばす機会を作りたい。
- ・JR,地下鉄の乗降客がアップする様な大規模開発となれば、地域集客力もアップし人口増加(流入)にも繋がる。中野駅周辺だけではなく、その周辺にも変化が出てくることになれば、弊社の仕事も当然ニーズ・需要アップに繋がるし事業所も新設したい
- ・都心に近く、集客が容易にできる為
- ・中野駅東口が出来れば集客につながるから
- ・集客力アップのため、より商売を生かしたい！！
- ・年々客足が戻りつつある今、丸井の建替えにより、多くの中の利用客が望めるから、何が来るかによりますね
- ・バス事業者としてバスターミナルが整備され、警察病院の誘致による利用者が見込まれるため、運行ダイヤの見直し及び大々増強に繋がる可能性があるから

ショールーム・支店としての進出

- ・支店開設検討
- ・ショールームなどの開設に良いかと思います
- ・自社商品のアンテナショップを開設したい。新製品の発表やショールームの開設の場としたい。

不動産業としてのビジネスチャンス

- ・不動産賃貸業務の拡大
- ・将来的方向が見えれば土地を生かしたい

- ・中野に愛着があるから

- ・中野のためになることを行いたい
- ・地域住民として中野区に貢献したいから
- ・中野で事業を開始したので都市の変化と共に地区を愛する気持ちで事業を考えたい
- ・現在もまた創業時も中野5丁目なので
- ・永いこと住んでいるので、移動は考えられない
- ・これからもずっと「町の写真屋さん」でいたい
- ・地元業者として活性化された地域での社会貢献並びに弊社の発展をビジネスを通じて具現化していきたい
- ・80年以上この地で、業種は変わりましたが営業を続けていますので、新しい中野でも続けて子孫にもこの地を譲って行きたいと思います
- ・中野で生まれ育ったので愛着がある

- ・中野で永く商売をしてきたので続けていきたい
- ・現在の事業が好調継続の場合、中野を拠点に拡大していこうと思うから。
- ・サンモールの発展を一番望みますが、もし駄目な場合は跡地のほうに移れば良いと思い、他の地区へ行く事は全然考えられません。
- ・生まれてよりここで生活しているので、ここで将来を考えたい
- ・中野が好きなので、この地域で商売をしたいと考えている。
- ・若い時代より中野で生活をしているので中野にてなるべく商売も生活もしていきたい
- ・今まで仕事をしてきて中野が好きになりましたので、中野で又考えたいと思います。
- ・大好きな街ですから！
- ・中野が好きだから

・ 交通利便性が高いため

- ・通勤上の問題が有るため
- ・より都心に近くなる
- ・都心部へのアクセスの良さ及び生活環境とのバランスなどを考えると便利
- ・やっぱり色んな面で本社から近いほうがいいから
- ・交通結節点であり、業務展開がしやすい
- ・現在の本社が駅より遠い
- ・交通の便が良く、また、人口の流動性も高く、商売に適している
- ・利便性
- ・取引先へのアクセスが良いから、JR、東西線(地下鉄)の両線があり交通の便が良いから

・ 現状を打破したいから

具体的に現在の建物・オフィスに不安があるため

- ・立地環境を変えて商売してみたい
- ・現状打開のため
- ・現行の業態が横ばいから衰退であるため
- ・ブロードウェイセンターからの移転を考えています
- ・現在の立地状況は大変都合がいいが、手狭であるので再考の必要が生じると思う

・ 時代のニーズに適応する必要があるため

- ・時代にあったビジネスを検討し、活性化させなくては、我々の将来は厳しいと思う
- ・ワンストップショッピングが定着し、商業施設の多様化が求められている。オンリーワンを目指したいが
- ・環境に適応した事業に変更しなければ生き残れない
- ・死活問題であるから
- ・時代にあった商い

・ 住居に近いので

- ・住居兼事務所である現在地から近いので
- ・現在の事務所と同一地域
- ・自社ビルがエリア内にあるから
- ・自宅(中野坂上)に近いので

・ 計画が具体的になったところで検討したい

産業が集積していることを前提としている

- ・産業集積地になれば検討する
- ・行政が真剣にインフラ整備を考えリーダーシップをとり、それが達成又は見通しがついた時
- ・囲町で事業を継続していくつもりであるが、警察大学校跡地の進捗状況を踏まえて検討を進めて行きたい。近い将来事業状況も変化する難しい局面も予想される
- ・活性化されて自分の事業にプラスになるまで、どのくらい時間がかかるかによります。私の年齢的には限界もありますし

・生活文化都市としての機能のレベルアップ

コンテンツビジネスの支援を希望

- ・若者が集まる街、年配者が安心して買物ができるきれいな街が中野駅周辺全体になったときはビジネスを考えます。
- ・現在の表面上の賑やかさは、やがて限界が来る。中野はカルチャー都市として集客を図る必要もある。著作権を中心とするコンテンツビジネスをバックアップしているため。
- ・再開発により環境の整備がされた静かな文化都市となれば、関連企業の中心となるオフィスを移転させ、集約したいと考えている
- ・商業都市ではなく、人が散歩に来れるような楽しく生活でき、働く環境があれば、人は集まってくるから、これが噂になり人が集まれば活性化も自然に生まれる。

・賃料が折り合えば

助成金を希望

- ・事務所家賃が手ごろな物件があれば、今の事務所を移転し事業の拡大を計りたい
- ・大学や病院が駅周辺に出来れば、ファーストフード店形式の業種は絶対にに繁盛すると思うが、新しく進出する業者に対して法外な保証金や敷金を課すことなく、区として助成金を出す等、思い切った援助をして、すぐに消えてしまう店舗のないようにすること
- ・賃料などの条件が合えば

・とにかく出たい

- ・とにかく出店してみたいです
- ・現在ちょっと裏通りに面しているので、表に出て商売できるのであればやってみたい。そのようなチャンスを与えて頂ければ幸いです。

・行政にリーダーシップを求める

- ・大学や病院が駅周辺に出来れば、ファーストフード店形式の業種は絶対にに繁盛すると思うが、新しく進出する業者に対して法外な保証金や敷金を課すことなく、区として助成金を出す等、思い切った援助をして、すぐに消えてしまう店舗のないようにすること
- ・行政が真剣にインフラ整備を考えリーダーシップをとり、それが達成又は見通しがついた時

・今のところから移る気はない

- ・当面、現在地から移転する予定はない

・その他

- ・他区より人を呼び込めるような施設や、大手家電店の誘致が活性化に有効的と思う
- ・少し控えた大人のセンスある都市文化に成長する。中野の生活環境で仕事したいです。
- ・既に駅周辺への出店を計画中である
- ・中野は、場所、地域といい、良い所にあるが、発展途上のような気がする。未だ未開発部分があるので可能性はある
- ・中小企業に適している
- ・競争相手が多すぎ物価が安すぎて、大手じゃないとやっていけない
- ・活性化された場合は検討する必要性は感じない。むしろ活性化に不安を生じたときに強く必要性を感じる。
- ・演劇、芸術、文化都市又は学園都市の中で教育事業を継続したい
- ・体的条件については、東京支社において策定、検討が図られると思います。

②中野駅周辺地区におけるビジネス展開は分からないとする理由

・再開発計画次第である、具体的にならないとわからない

- ・活性化の中味次第
- ・交通の整備、ホテルや会議室の確保が充足されるかどうか。当社の立地条件は、出版流通の変化も影響を受ける。(ネット販売、取次ぎ機能の移動 ETC)

- ・需要や市場がみえない(わからない)ので、今のところ不明です
- ・新しい計画を総合的に拝見しないと分かりません。
- ・どう活性化されるのか不明なのでわからない
- ・主要駅との距離により考慮
- ・どの様に変化していくかわからないので、今はまからないがニーズに合えば検討したい。
- ・先行きの不透明な現在、変わってから考える方が良くはないか
- ・駅から10分程の商店街に位置する場所であるが、近隣が住宅地と変化しつつある。
- ・営業上、人通りや場所が大きく影響するが、人の流れによっては移転も考えられるが・・・？
- ・「活性化」の具体的内容が明確でないので検討しようがない。
- ・自由通路。駅の東西出口の向上。

・ 自社の都合、条件次第

- ・主力となるターゲット商品が現状中野でのニーズが少ないため、方向を帰れば話は別になるが利益率が低いと思われる。
- ・当社はライフライン補修、保安等の業務で首都圏近郊を含めエリアとして365日働いているため、必要又は要望に応える考えはあるが不明
- ・本社をどこに置くかということについては、多面的な要素で考えたい。
- ・自社ビルの為建て直し等はある
- ・今後の会社の業績次第にて
- ・年齢的に後継者次第
- ・当会は、会員制の団体のため、高齢化による会員の減少が危惧される。
- ・当社、地方に本社のある製造メーカー東京事務所。所在地では、人数、規模により移転も考えられます。
- ・後継者がいないため、先の事はわからない

・ 賃料・資金採算が問題

- ・資金や良い商売が見つければ考える
- ・事業所や店を持つにあたり家賃や敷金の問題がある。適正であれば良いが現時点では疑問である。又、交通に 関して言えば、縦の地下鉄でもあれば栄えることは間違いない！
- ・資金問題上の問題
- ・ビル家賃の高騰が懸念されるから
- ・資金的に、また年齢的な点など総合的にその時点で検討したい
- ・大型店が活性化しているので個人経営は難しい

・ 業種特性として必ずしも駅近くである必要はない

- ・ビジネスの拠点としては考えられない
- ・各種企業の移動に伴い、我々工業の業務拡大に結びつかは疑問です
- ・タクシー業は色々な法的規制を受けており、建築条例一つ取っても中野での展望が開けない
- ・現事業所の移転は考えにくいと思われる(業種の特性上)
- ・物品の販売をする事ではないので答えようがない
- ・職種的にはこの地域とは直接的な関わりを持たないから

・ 好きになれないから

- ・狭い、空気が汚れている、人が多過ぎる、ゆったりと出来る交響、民間においてもスペースがない。
- ・落ち着かない。

・ 現在対象地域外での営業を行っており、わからない

- ・弊社最寄り駅は中野坂上なので、中野駅周辺が活性化されるとしても、ビジネスでの事業展開にはなかなか結びつかない
- ・当店営業所が鷺宮地区と中野駅より距離がある為
- ・中野駅近辺に住んでいないので今は判らない

・ その他

- ・区内の人口が減少している現在、子供の成長に合わせた街づくりが必要ではないかと思う
- ・先のことはわからないので
- ・南北方向の交通アクセスがあまり良くない

③中野駅周辺地区におけるビジネス展開をしない理由

・ 業種から展開不要

- ・中野の発展と直接関係がない
- ・中野駅周辺地区に弊社みたいな会社があっても意味がないと思うから。
- ・中野駅周辺は商業を中心にした地域であり、弊社のような製造業には向かない
- ・事業所はあくまで拠点であり、中心部に移動する必要は全くないから
- ・物販店や飲食関係ではないので、特に中野駅周辺での事業は考えていない。
- ・電気部品メーカーにとって有利な条件はない
- ・測量業は場所を選ばないから今のところ良い
- ・個店ではないので
- ・針治療は個の治療で場所が活性化されて影響されるものではないと考える
- ・仕事の性格上考えていません。
- ・他の区で会社に入って販売しているので(毎週)
- ・卸売業のため(道路および在庫地の立地条件に合わない)
- ・現在の仕事が委託業務のみですから事業所はどこと限る必要がないので

・ 現在地がよい

- ・新井薬師公園に居住している故
- ・古物商、衣類、貴重品、書画骨董、小道具(茶器)等。昔から、この場所で業界に売り込んでいる、個人も多数来店
- ・地域密着でこれからもやっていこうと考えているため
- ・現在の場所(中野坂上)が交通の便が良い為
- ・東中野駅前なので、移動するつもりはありません
- ・移転は考えられません。すでに目の前はサンプラザが見える・・・という立地なため、駅から徒歩2分なので

・ 需要がない

- ・中野地区での需要がないから
- ・専門業者を対象として業務を行っており(一般客を相手に業務を行うことは考えていないため)活性化されたとしても対象業者がそこに集まるということは考えにくい為
- ・他地域での展開が多いため
- ・現在得意先が中野駅周辺にない
- ・従来の取引先を替えることはない

・ 工業や製造業なので

- ・業種が製造業のため
- ・製造業が駅周辺で事業活動をする、環境問題等で街の活性化に繋がらないから
- ・板橋区(大田区)等に比べ、工業への活性化対策が不十分。国際展示会への共同出店や、合同展示等色々あるのではないかと本アンケートも工業、製造業、工場等については何も聞かれないのが悲しい。

・ コストが見合わない

賃料が見合わない

- ・とても地価が高すぎる
- ・人材と資金がない
- ・借地料(家)が高すぎる
- ・家賃が高く当社では無理だと思います。
- ・不確実要素もあり投資する予定は無い

・ **メリットがない**

- ・当社にとって移転のメリットは出ない
- ・現在の所在地で十分。店の競争力を挙げ、集客するビジネスモデルを行っている。
- ・現状の事業を中の駅周辺で展開することに特段のメリットがないため
- ・小売業なので店舗を増やすとしたら中野以外の地区での事業を考える。

・ **小規模なので**

- ・今のところで規模等十分
- ・零細規模ですので対象になりません
- ・現状より規模を大きくしても集客が見込めないため

・ **既に移転計画がある**

- ・2年以内に事務所移転を考えている。姪の実家が空き家になるのでそこに移転計画
- ・現在本社を置いているが他に移転を考えている

・ **事業縮小・後継者不在のため**

- ・年齢(高齢)と職種から一代の事業と考えるから
- ・事業縮小の予定

・ **その他**

- ・リスク分散をしたいので、一地域に集中したくない(大規模災害等への)
- ・移動しない
- ・住民の減少で発展性が望めない。

④その他の自由回答

・ **自社都合（全国や関東レベルでの事業展開をしている）により**

- ・当社の事情によるものであえて中野に本社を置く必要性が銀行関係のみで、全てプロフィットセンターが埼玉県に集約されており、いづれ時期を見て埼玉への移転を考えている。
- ・弊社業務は全国展開しており、全国の観点より地域開発を見ております。

・ **収益団体ではないので**

- ・会員が強制加入が条件となっている団体のため、団体としてビジネスは出来ません
- ・社会福祉法人のために収益を目的としない(ビジネスとは違う)

・ **移転を考えられない**

業種的に移転は考えられない

- ・長年商売をしてきた土地なので移動は考えられない。
- ・商店街組合の性格上、現在の場所で営業を続ける。JR 駅舎(特に改札口)の位置により、客の流れが大きく変わる・ので、今後の情報入手に努め、関係方面に意見具申をしていきたい。
- ・地域金融機関として出来るだけの支援を行っていく

・ **その他 コストが問題**

- ・中野に拠点を置きたくても経費がかかりすぎると中野に留まれない

3. 中野駅周辺まちづくりに関して、特に産業誘導策や地元産業の活性化策に対する基本的な考え方や要望等について(自由回答)

①開発コンセプト・導入機能に関して

・独自性が必要

- ・大型店舗の誘致はしないほうがいいと思う。既存の商店に打撃を与えるだけで活性化にならないと思う。デパートの多い新店には勝てない。個性的で魅力のある専門店が増えると良いと思う。また、文化、芸術の街としても育て欲しい。
- ・中野という商業地の魅力として将来こうなったらいいな→ex.多店舗チェーン店がない、小規模でも多種の商店集積地、創造性高い公的援助を受けたアンテナショップ
- ・①サンモール商店街は賑わっているが、多くはフランチャイズの出店で、区や、その地域の人々の繁栄に直接結びつかないのでは、②地元の人々、産業が育つ施策が必要ではないか
- ・吉祥寺とは全く違う魅力ある街づくりをしてもらいたい。文化的な特徴があり若い人をひきつける場所にしてもらいたい。
- ・他の区や市のマネをしないで、長期的考えに立って具体策を練ること
- ・ミニ新宿や身に渋谷のような街づくりでは、決して良い街づくりではない
- ・他地区の人が途中で下車したり、観光バスが立ち寄るような名所になれば財政も豊かになると思います。
- ・大型商業施設とはショッピングモールやデパートのような業種で量販店やホームセンター的な安売りをする店舗では絶対だめ！町のイメージを上げられるような上品さのある施設を
- ・商店街には全国展開のチェーン店が増えるばかりで、個性に欠けている。専門店を集めたエリア、高齢者がゆったり出来るエリア、若いママ子供が安心して過ごせる遊べるエリアが必要
- ・大型施設にどこにでも入居しているような店舗ではなく、何か特徴のある元気な会社を選んで欲しい
- ・中野ならではの特色ある街づくり。テーマを決めてアピール。憩いの中野、ITの中野、健康に一番の中野、遊び天国中野、ふれあい中野、緑の中野、雑学楽し中野、子供も大人もアイデア一杯の中野、外国と接点を持つには中野等
- ・今までにない発想で町づくりを展開すべき。六本木ヒルズや表参道ヒルズに対抗すべく高級感あふれる中野ミッドタウンを作ったらどうか？
- ・中野というところの色がはっきり素敵なお色を出せることが出来れば、(人も道も建物も風も音も他)、産・商の誘導も、地場産業の活性化も大きく踏み出すことが出来ると思います。

・まち全体を総合的に開発してほしい

- ・中野駅近くには専門学校もあり、更に新たな大学の進出などを考えると。若者の町としてのイメージを強く打ち出し、サンモール、ブロードウェイについては、権利者(特に土地)が複雑で集めるのが大変だと思う。しかし、この2つの商業施設を何とか再開発しないと、中野の将来はない。また、南口(中野2丁目)、駅舎、丸井本店、JR東に本団地など、個々ではなく総合的な計画を作るべき
- ・バラバラ地域開発でなく、未来創造計画、都市開発であって欲しい。池袋のように単体高層ビルの連合型にならないで欲しい。
- ・中野は、駅周辺に区役所、税務署、都税事務所、法務局と集中している。新井薬師周辺に官公庁をつくり、駅から官庁街間の商店街を発展させるべきである。いずれにしても、交通をどう整備するかで中野の都会と過疎地をつくらないようにしないといけない。

・まちのコンセプトやイメージについて言及

- ・統一感のあるコンセプトに基づき、中野区として何を“売り”にするのか方向性を明確にし、地元の声を大切にしたい開発を行って欲しい。地元の衰退していくような方向へは持っていった駄目。
- ・中野駅舎の近代化を始め、駅前広場整備(地上広場、地下車寄せ等)、警大跡地は商業施設、福祉施設、緑地帯を含め総合生活文化地域を目指す
- ・ゆとりを持った美しい街になって欲しい
- ・これまでの中野駅周辺の特色は、小規模商業街及び中野サンプラザを中心とした芸能文化の街というもので、「保守的で古い」というイメージでしたが、街づくりという視点からは新井薬師という憩いの場、中央線の真ん中という交通の便のいいところをアップして、街並みは低層階の建物で中味は新しいものを取り入れていくという考え方で。

・若者のまちとしての中野を希望

- ・中野駅近くには専門学校もあり、更に新たな大学の進出などを考えると。若者の町としてのイメージを強く打ち出し、サンモール、ブロードウェイについては、権利者(特に土地)が複雑で集めるのが大変だと思う。しかし、この2つの商業施設を何とか再開発しないと、中野の将来はない。また、南口(中野2丁目)、駅舎、丸井本店、JR東に本団地など、個々ではなく総合的な計画を作るべき
- ・吉祥寺とは全く違う魅力ある街づくりをしてもらいたい。文化的な特徴があり若い人をひきつける場所にしてもらいたい。
- ・これからは中野区を活性化のためには、学生を始め人が集まる街(イベントや名所古跡等)を、潤いのある街が望みです
- ・町をキレイにおそうじをして欲しい。若い人が喜ぶような町造りをして欲しい。オタクの町中野だから若い人は活気があるから
- ・今までの中野駅周辺のイメージとして生活に根付いた商品、価格(生活用品が安いなど)の店舗が多く、そういうものを残しながら、若者がざくばらんに利用できるものにして欲しい

・具体的な導入機能

- ・ブロードウェイ、丸井跡地などが商業施設として活性化されるのは良い事だと思うが、まず第一に「家族、子供が住みやすい町」ここが大前提になければならない。それが秋葉原との最大の違い。そう考えると、商業施設より公園やアミューズメント施設、駐車場などをもっと充実して欲しい。
- ・シネコンや温泉施設等の大型商業地を誘致し、家族層を増やす。周辺への誘導を行う。
- ・既に警大跡は民間に売却され、東京建物がオフィスを誘致すると思われる。これを元に南口でもオフィス又は大型ショッピングを組み合わせた施設を誘致すべきです。又、丸井の閉店はむしろ地域活性のためにはいいことです。駅周辺整備を(小売店+緑)うまく組めば人はお金を落とす。その後オフィスが盛り上げるようになり、また飲食などが活発化する。

・文化・芸術・芸能のまちとしての中野を希望

- ・大型店舗の誘致はしないほうがいいと思う。既存の商店に打撃を与えるだけで活性化にならないと思う。デパートの多い新店には勝てない。個性的で魅力のある専門店が増えると良いと思う。また、文化、芸術の街としても育てて欲しい。
- ・居住空間を多くし中野区の住民の増加を目指す。低価格の住居を提供し狭い道路付の住居の移転を推進することにより適正な道路幅を確保する。中野区の特徴を持つ芸能人(中野区に住む)を多く集め、文化、芸能のまちをつくる

・住みやすさを重視

- ・ブロードウェイ、丸井跡地などが商業施設として活性化されるのは良い事だと思うが、まず第一に「家族、子供が住みやすい町」ここが大前提になければならない。それが秋葉原との最大の違い。そう考えると、商業施設より公園やアミューズメント施設、駐車場などをもっと充実して欲しい。
- ・商店街への集客の少なさが目立つ。ファミリーが安心して利用できるような施設が少ない。それには跡地の活用の仕方が大方を占めると思う。
- ・活性化されればされる程、駅中心の賃料は高くなり若い世代の居住や開業が難しくなってしまうのは本末転倒です。若い世代が駅周辺に暮らし働けるような地区と緑多い公園(犬などペットも)に誰でも散歩できる環境作りの両方をもつまちづくりをお願いしたい。産業誘導は必要であり地元商店もその刺激を受けもっと区民のための商いを考えていって双方が共存できることが活性化につながると思う。

・公的支援を希望

- ・中野という商業地の魅力として将来こうなったらいいな→ex.多店舗チェーン店がない、小規模でも多種の商店集積地、創造性高い公的援助を受けたアンテナショップ
- ・①サンモール商店街は賑わっているが、多くはフランチャイズの出店で、区や、その地域の人々の繁栄に直接結びつかないのでは、②地元の人々、産業が育つ施策が必要ではないか

・その他

- ・大型店舗の誘致や大型娯楽施設誘致によつての活性化は計れると思いますが地元産業の小規模店舗等の活性化はむずかしいと思います。
- ・居住空間を多くし中野区の住民の増加を目指す。低価格の住居を提供し狭い道路付の住居の移転を推

進することにより適正な道路幅を確保する。中野区の特徴を持つ芸能人(中野区に住む)を多く集め、文化、芸能のまちをつくる

- ・丸井閉店のこの機会を利用して、南口のイメージアップのための街路整備を行ったほうが良いのでは。それが魅力のある産業の誘導に繋がると考えます。

②まちづくり全般に関して

・まちづくりにあたってはまち全体での連携が必要

- ・区、都、国、JR 東日本、公団(UR)及び大手民間企業(丸井、デベロッパー、大学)の連携が重要。その為、区の責任は非常に重いし、重要なポイントと思われる。
- ・警察大学校跡地をトリガーとして再開発の動きが具体化してきた。(まず2つの大学)このチャンスを活かし魅力ある街づくりを期待する。そのためには自治体、企業、商店街、町会等が協力し同じ目的を持って取り組む必要があると思われる。
- ・まちづくり推進公社設立し、地元商店街、地元会社経営者、地元銀行関係者、地元商工会議所(中心)、中野区役所、地元共同ビル建設推進者、地元自治会、JR、地下鉄関係者を集め対策協議を活性化させる。又駅前周辺の共同ビル化を同時に推進させる策を協議することも大事(資金調達、税制面の優遇措置等)

③駅舎・駅前広場に関して

・改札口整備(回遊性確保)、駅ビル誘致

- ・思い切って中野駅駅ビル構想に切り替えてみたらどうか?快速で新宿から1つ目の駅としてはあまりにも惨め過ぎると思われる。特に我が商店街に至っては駅前の過疎地と化している。
- ・中野駅舎を駅ビルにし、食品館等を設置及び宿泊ホテル等の新設を望む。北口通路(人と車)の改善の要望。
- ・中野駅及び周辺の古く暗い雰囲気や北口⇄南口の移動のしづらさ(ガード下、暗いですし、混んでるので)勿体ないです。是非 LONLON など駅ビルを誘致して欲しいです
- ・中野区の性格を変えなければならないと思う。今までは南北を中心に開発を進めてきていたが、東西の発展が欠かせないと思う。駅舎ビルの建て直しに伴い、東西からの駅へのアクセスの良さを重視することが重要に思う。産業の活性化はインフラ整備によるところが大きい。私の住んでいるところは、必ず坂を降りて駅に行き、坂を登らなければ帰れない。住民が快適で便利と感じなければ、産業をいくら誘導しても、働くものが快適で便利だと感じなければ離れてしまう。東西の地区からのアクセスの良さが中野の発展には欠かせない。
- ・中野駅南口、官舎近辺に改札口の設置を希望します。北口同様ゼロホールまでの商店街が盛り上がり活性化につながると思う

・利便性の確保を希望

- ・駅は居住区だから移動する拠点です。移動に伴う利便性、必要な買回り品の購入店舗の必要性があります。物流、情報の流れ、居住区及び小企業の存立等様々な生活空間を創造する中心街です。

・駅前広場整備

- ・駅北口広場の花壇の撤去による有効活用が具体化されることを期待している。

④道路等インフラ整備

・歩道整備

- ・駅周辺の自転車の撤去(ゆっくり歩行できる街づくり)
- ・商店街の歩道の拡張。歩行者道路(アーケードなど)の設置。
- ・放置自転車の取り締まり、歩行禁煙の徹底など公衆道徳の発展

・駐車場整備

- ・車社会であるとの認識を持っている。駐車場等の整備が必要。
- ・駐車場の取締りが経済に問題を起している。

・その他

・駅南口前のレンガ坂。この坂がやっとそう呼べるようにきれいになったが、他の中野の道路は誠に汚い。それと頭上を走る電線の混乱、とても都市の町とはいえない。

⑤区政への要望

- ・もう少し、区政と住人との距離を縮めるべきだと思う
- ・2丁目再開発の会員であるが、計画が進むのが遅い、区が強力な指導力を発揮して。区長さんも早く決断して欲しい。担当者が良く変わるのはどうかと思うが、これが役所というものかとも思う。すべてスピードアップが必要ではないかと思う。
- ・経営基盤の弱い小企業に対する公的支援に期待する
- ・①中高年者と若者の交流、②自転車道を車道につくる、③公園を駐輪場にしてしまうような区役所の発想を改める、④中野通りの緑の剪定、予算の無駄遣い、緑を削ることをやめる、⑤中野区の区議員の数を削減し福祉に振り向ける、⑥老人医療に充実と介護について若者のボランティアを望む(将来の介護へのポイント制)

⑥にぎわいづくりについて

- ・中野に集まる人数は量的にはかなり好調だと思う。あとは、より活力を生むような場づくり、人集めが重要となってくると思う。
- ・高円寺(阿波踊り)、阿佐ヶ谷(七夕)・・・杉並区のように、中野駅周辺何かイベントをお願いいたします

⑦その他

・治安確保・震災対策

- ・町の治安向上の為、中野駅北口にも交番を作って頂きたい。
- ・直接の方策ではないが、震災時の対応が濃いこと。若い人、子供が中心のスペースや企画、障害者が街を散策しやすいハードとソフトのシステムが、長い目で見ると効果的

・危機感

- ・駅周辺活性化に伴い、当社(ふれあいロード)周辺は、取り残される危機感はある。駅舎新建替えにより出入り口がこちらの方へ移ったら、淋しい通りとなってしまう。(地元客対策とは云々)
- ・中野駅周辺の街づくりの一環として地方都市との交流(姉妹都市みたいな)をこれまでにないような綿密な活動で相互の利栄を計り活性化を望めないか。東中野駅周辺のシャッター街もなんとかならないものか。

・活性化不要

- ・活性化だ、賑わいだ、と只々騒々しい中野駅周辺の街づくりは賛成しかねます
- ・何回も案に上ってはつぶされてきたが、ゴミの処理施設と焼場を自区内に持っていないのは、住民として本当に恥ずかしい。何も活性化するだけが能ではない。自分の出したゴミ、自分を含めて区民の火葬、これを自区内で行うことがホントは必要ではありませんか

・人材育成

- ・政府が推進している若者自立挑戦プランの日本版デュアルシステムについて、学校では平成16年から「午前中学び、午後働ける産学連携デュアルシステム」を実施しています。これは、午前中は当校(専門学校)で学び、午後から近隣の企業でアルバイト(職場実習)をすることにより、学生の経済的自立と職業的自立を図ることを目的とした、新しい職業教育システムですが、中野区の地元産業との産官学連携のコーディネートが期待できれば幸いです。
- ・中野駅周辺の生活文化、産業都市としての向上をはかるため研究、人材育成に力を入れたい。

・その他

- ・交通の便が悪いところは中野に行くより新宿に出ます。都立家政駅を利用する人は新宿だったり鷺ノ宮駅を利用する人は阿佐ヶ谷等、服や日用品を買う場合、中野区で買うスーパー等も見当たらないのもっと街づくりに投資すべきだと思う。ホームページを活用している商店も少ない

- ・情報提供、資金面でのメリットを前面に打ち出せば新規参入、地元業者の活性化につながると思います
- ・企業により SOHO 支援など、企業が個人の活動を支援する活動に支援する活性化策があると良い。
- ・中野区は、都市マス懇談会、中野駅周辺まちづくり意見交換会を既に開催済みです。その間にも民間事業所は必死に生き残りの為の努力をしているなか、商工会議所が産業振興策さくせいのための意識調査をこれから行うというご努力には心から敬意を表します。

調査結果を速やかに分析して、まとめましたら「どうしたら良いか？」をできるだけメディアを動員して発表し、実行に移す(働きかける)ことが一番大切です。

発 行：平成20年2月

東京商工会議所 中野支部

〒165-0026 東京都中野区新井1-9-1 中野区立商工会館2階

電話 03-3389-1241

発行人：松本 謙治
